

# **BAOSHARE ポータブルスキャナー 使用説明書**

**製品番号: GP2100AF**

# 目次

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 一、動作環境 .....              | 2  |
| 二、仕様.....                 | 2  |
| 2.1 本体各部名称.....           | 2  |
| 2.2 本体接続部説明.....          | 3  |
| 2.3 組み立て説明.....           | 3  |
| 2.4 タッチボタンの機能説明.....      | 3  |
| 三、ブックスキャン操作手順.....        | 4  |
| 四、ソフトウェアインストール.....       | 8  |
| 五、アンインストール.....           | 16 |
| 六、ソフトウェアの説明.....          | 16 |
| 七、ソフトウェア機能紹介.....         | 17 |
| 7.1 ソフトウェア導入に関する注意事項..... | 17 |
| 7.2 機能領域の概要.....          | 17 |
| 7.3 補助機能領域の概要.....        | 19 |
| 7.4 デバイス情報エリアの機能紹介.....   | 20 |
| 7.5 出力ファイルリスト領域.....      | 20 |
| 八、一般的なトラブルシューティング.....    | 20 |

## 一、動作環境

必要スペック

CPU: i3 以上

メモリ: 4GB 以上

ディスク: 50GB 以上の空き容量

OS: Windows XP/Win7/Win8/Win10

推奨スペック

CPU: i7

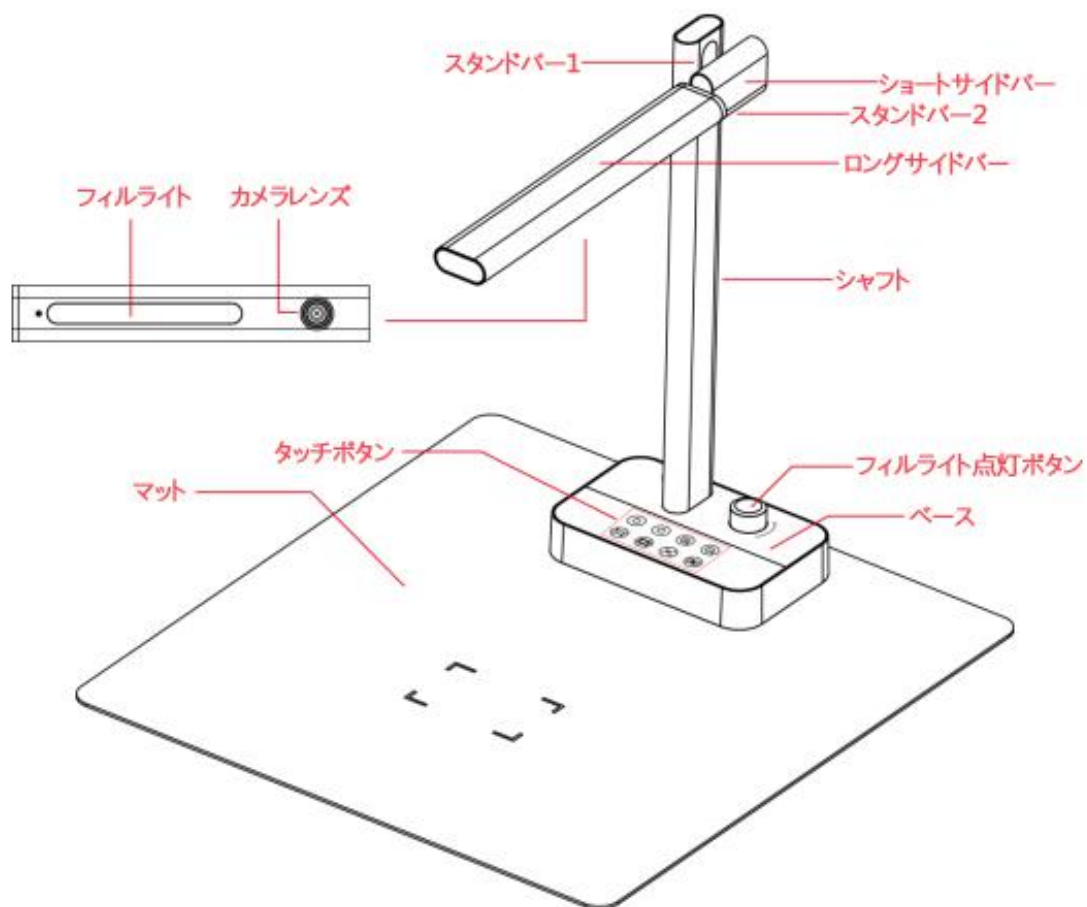
メモリ: 8GB

ディスク: 500GB

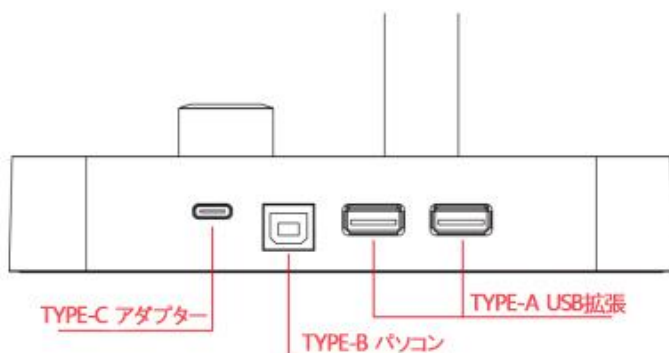
OS: Win7/Win8/Win10 64bit

## 二、仕様

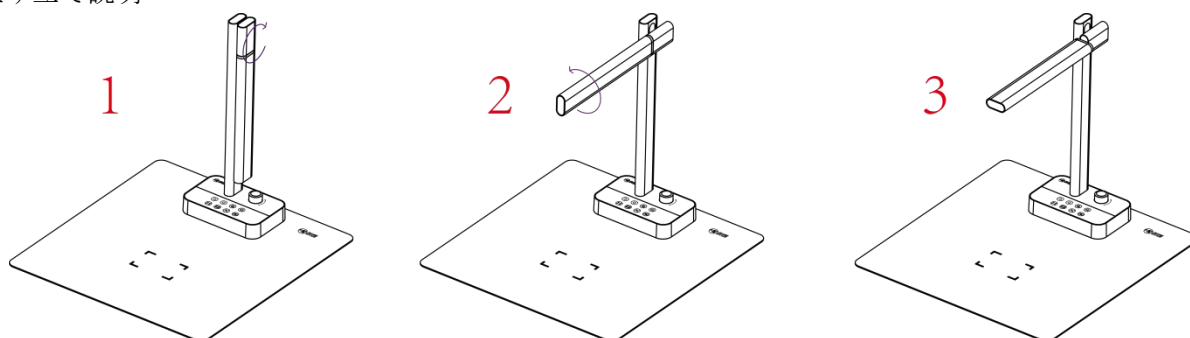
### 2.1 本体各部名称



## 2.2 本体接続部 TYPE-C(アダプタ) TYPE-B (PC) TYPE-A(USB)



## 2.3 組み立て説明



2.3.1 底部の対応する位置に本体を置く

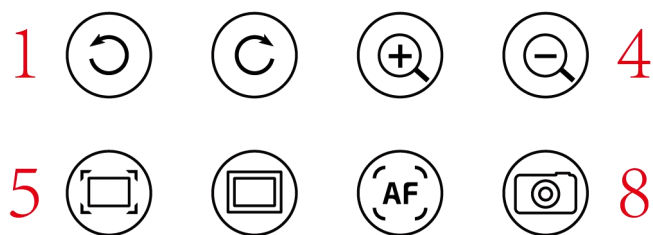
2.3.2 ショートサイドバーを矢印の方向に回して水平にする

2.3.3 ロングサイドバーを矢印の方向に回して水平にする

2.3.4 接続部の説明に従い、アダプタとケーブルを接続する（ケーブルはP Cと接続）

2.3.5 対応するアプリをP Cにダウンロードする

### 2.4 タッチボタンの機能説明



1、逆時計回り 90°

2、順時計回り 90°

3、拡大

4、縮小

5、1 : 1

6、画面に合わせる

7、オートフォーカス

8、撮影

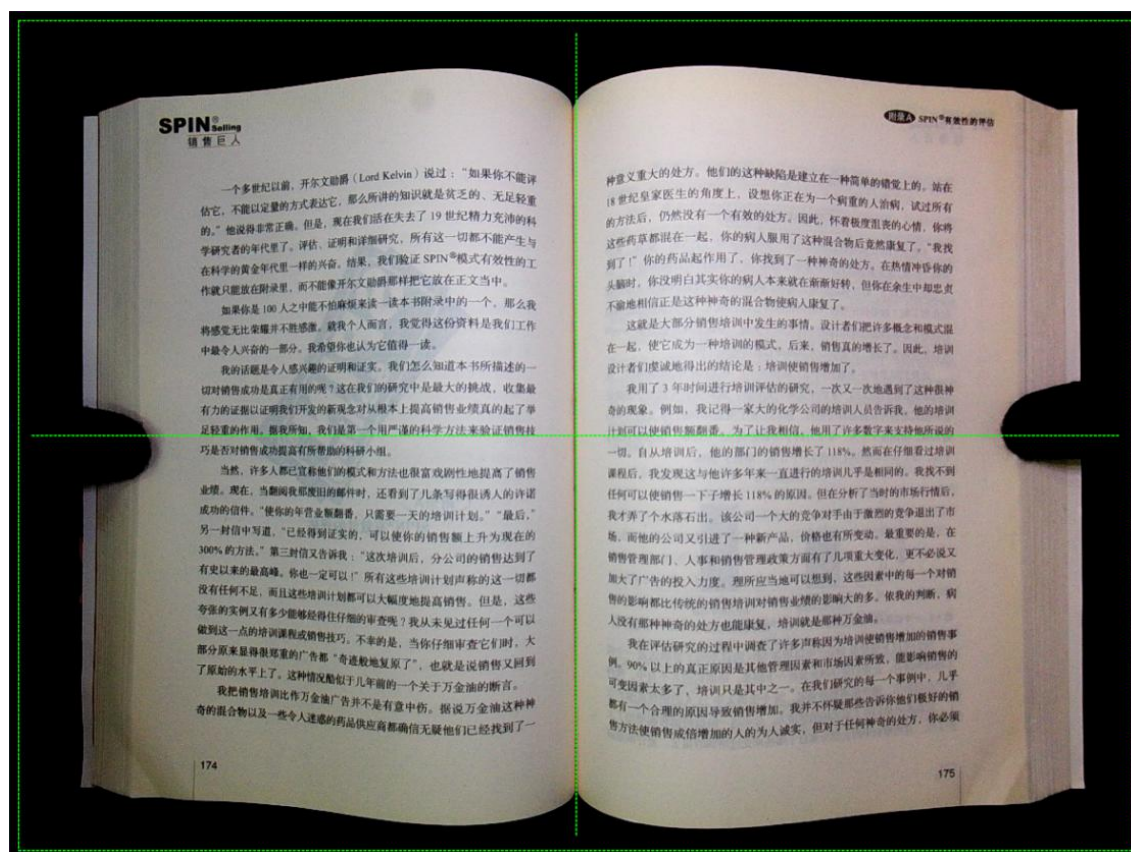
### 三、ブックスキャン操作手順

#### 正しい操作手順

スキャンするときは次のステップで行う必要があります：

- 1) 背景として黒いテーブルを使用する必要があります。
- 2) 本はできるだけ平らに置き、斜めにしないでください。本の中心を緑の点線に揃える必要があります。
- 3) 本の周囲と緑の枠の間に黒い部分がなければなりません。
- 4) 本が厚すぎる場合は、指で押して水平にする必要があります。
- 5) 指の位置は、左右のページの真ん中に置いてください。
- 6) 黒い指サックを使用してください。
- 7) 指で押す位置が、テキストや画像などの本の内容を覆わないようにしてください。

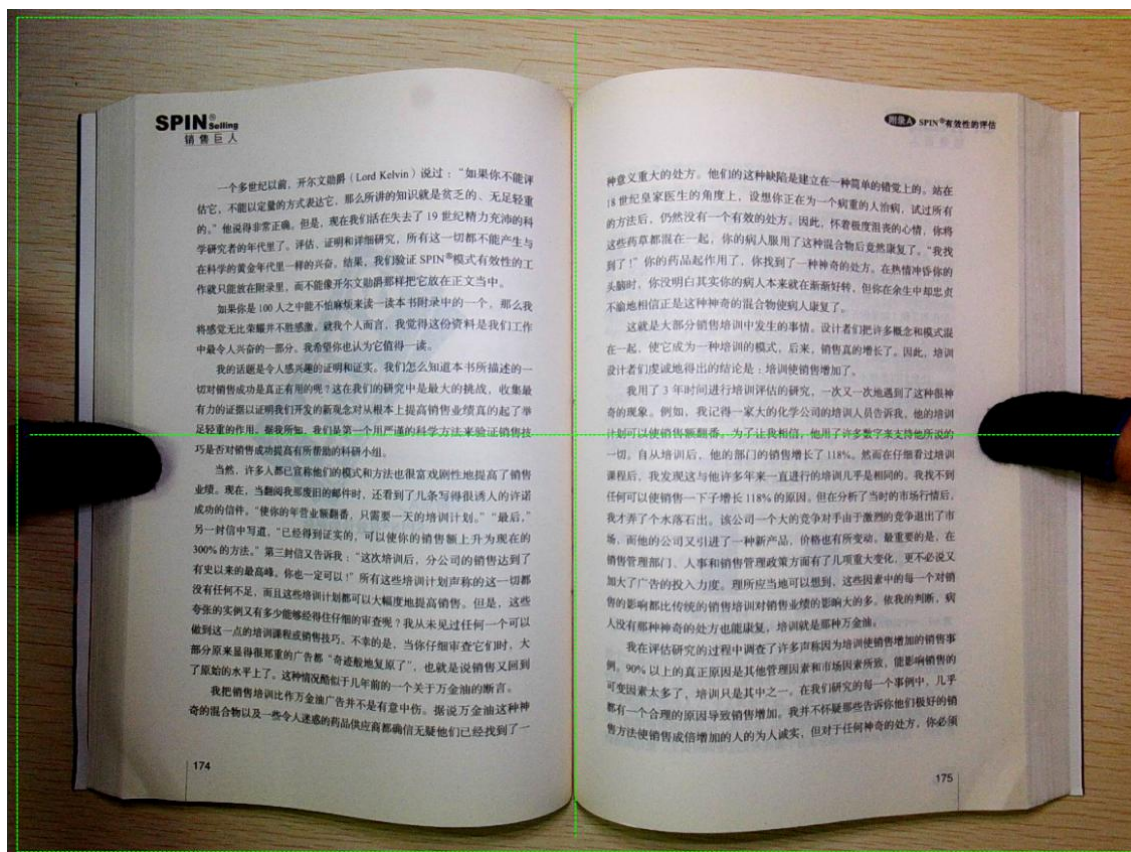
(図参照)



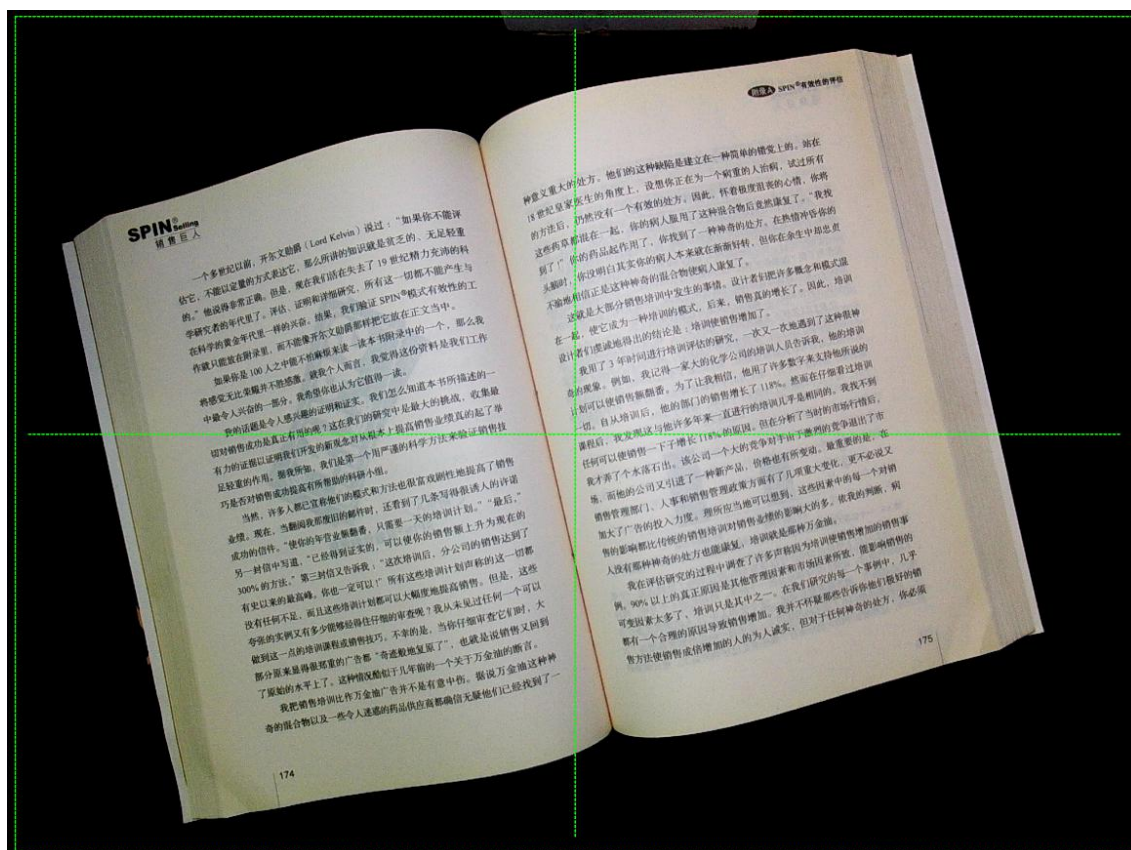


# 正しくない操作手順

本の背景が黒ではない。サイズに合う黒の原稿テーブルが必要です。

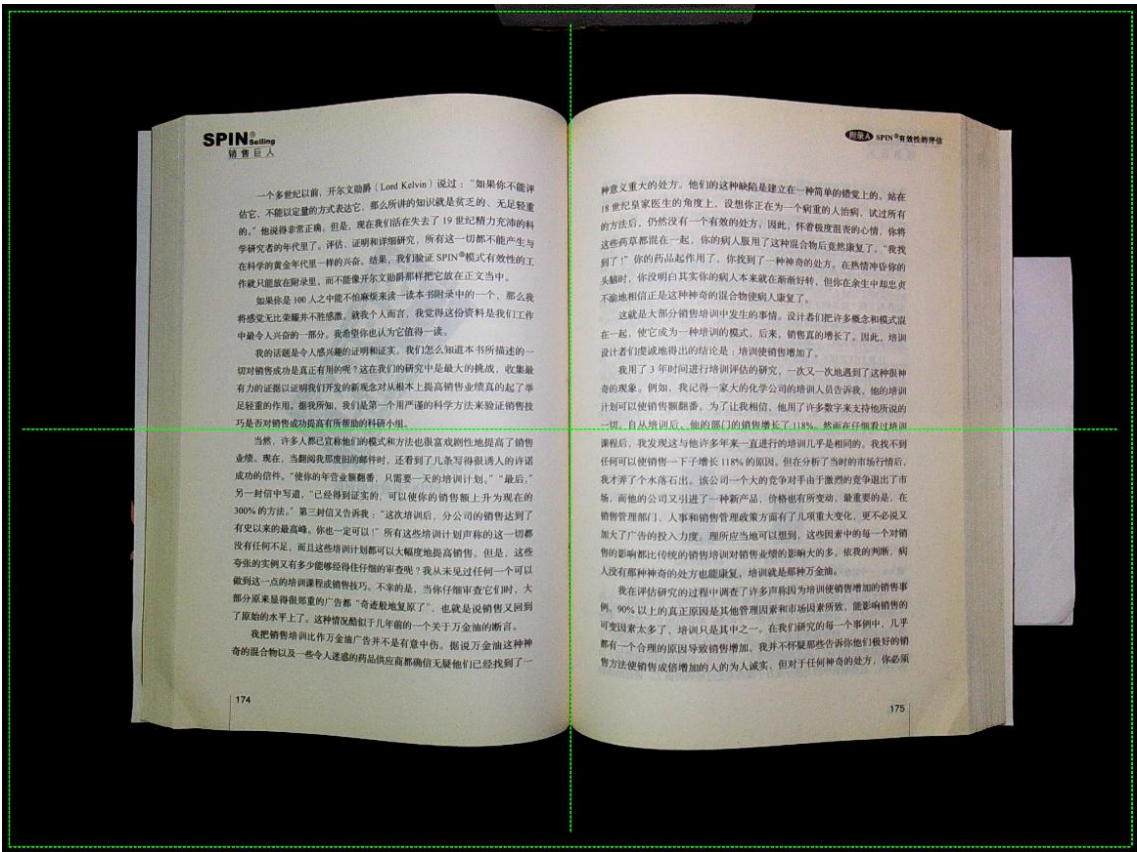


本の位置のずれ。本の中に緑色の点線が揃っていない。

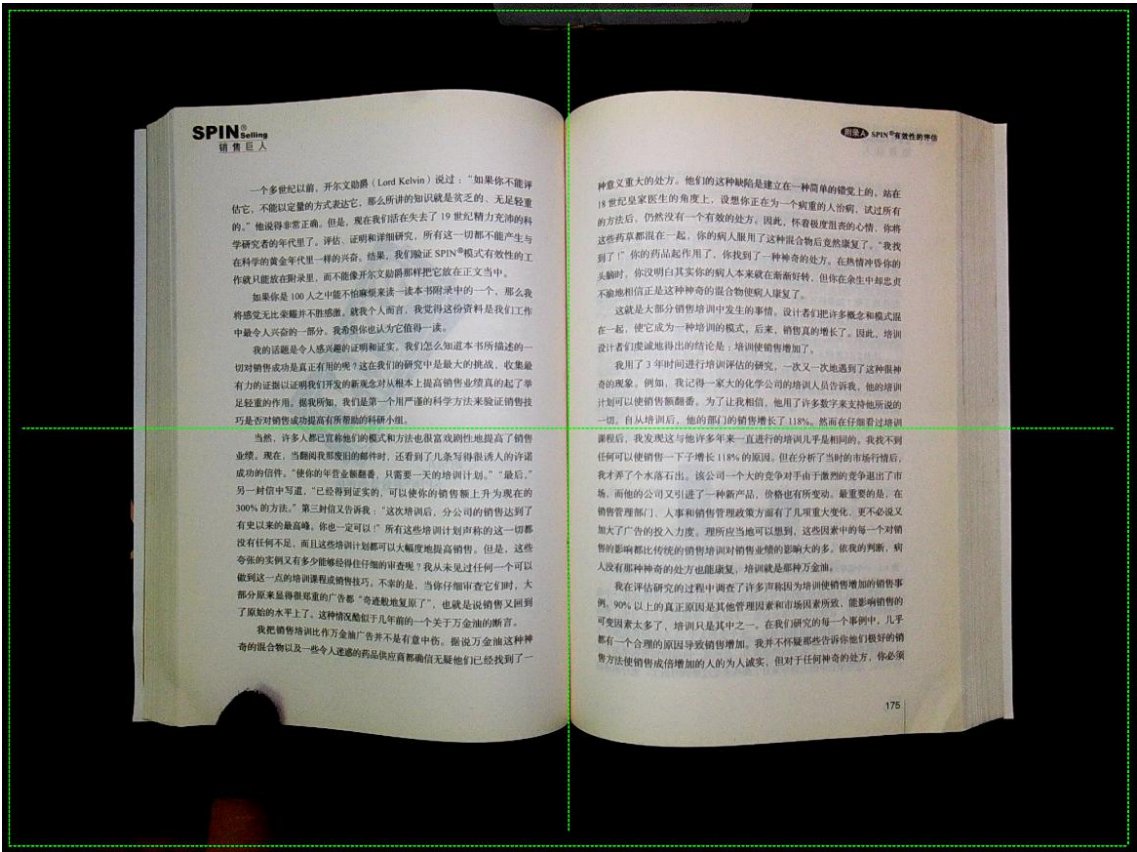




本の右側が黒ではない。周囲全部が黒でなければなりません。

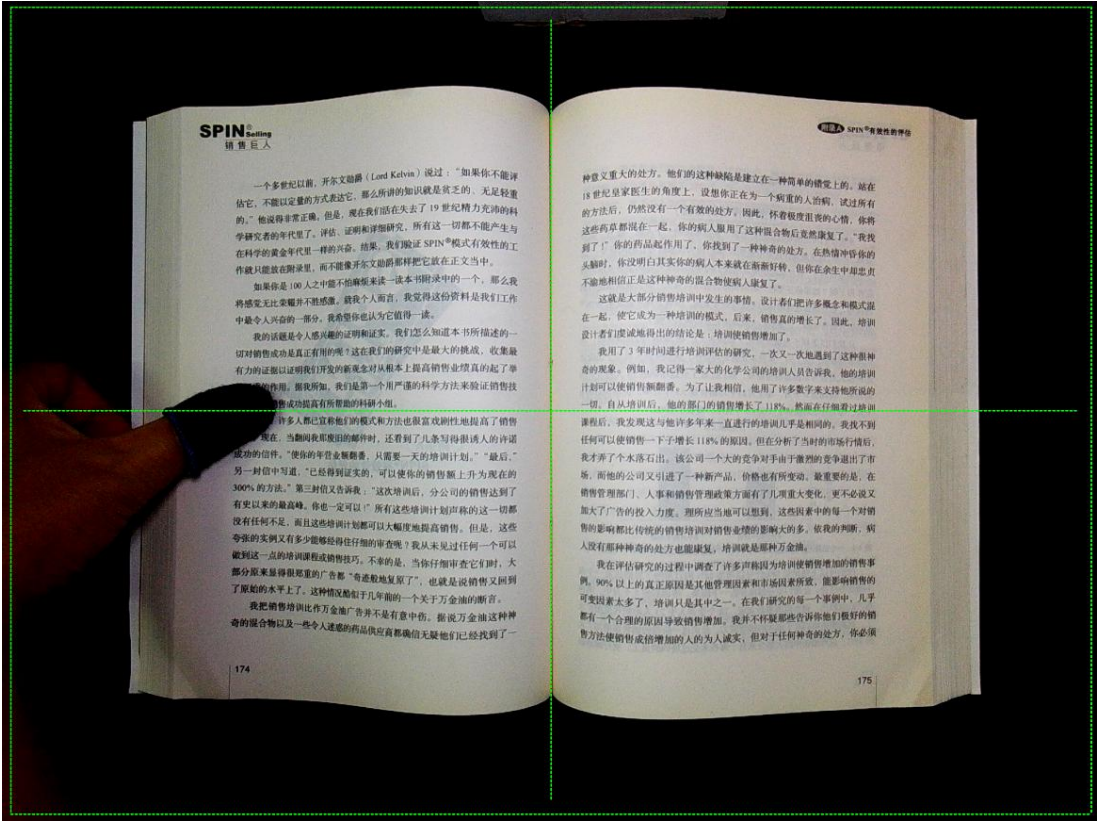


指で押さえる位置が間違っている。指は本の左右のページの中央で押さえてください。

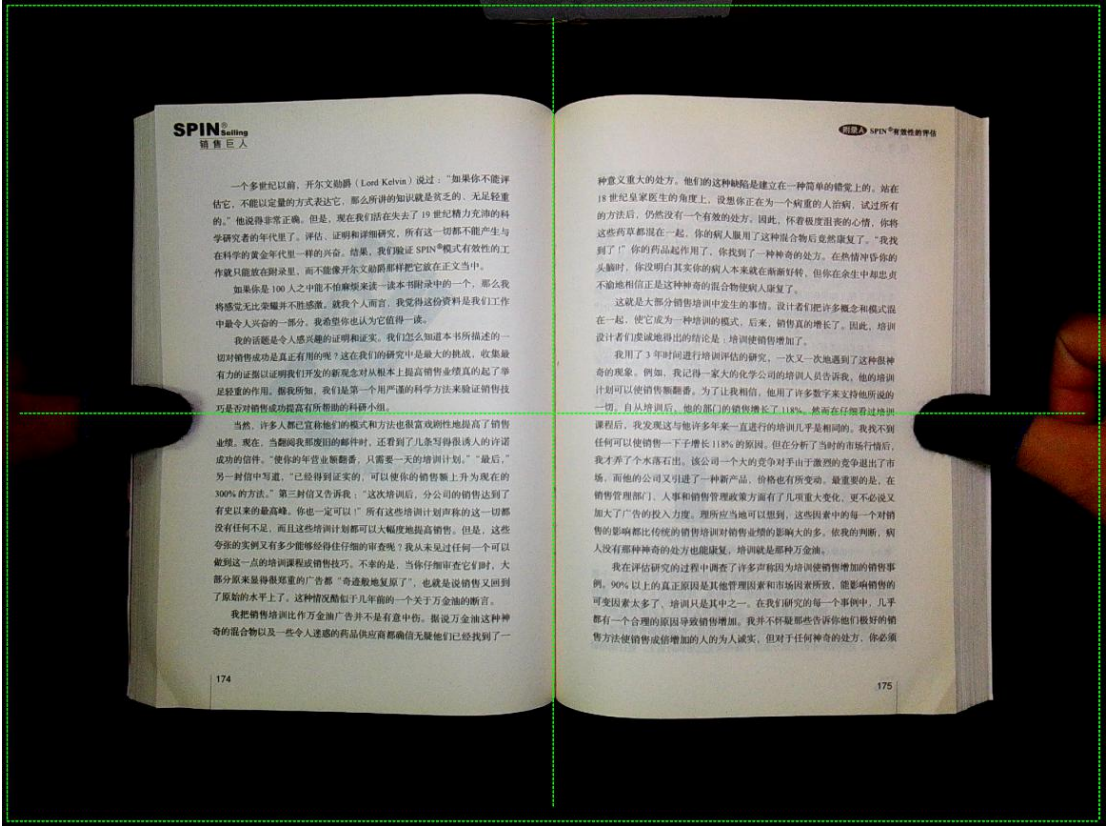




指で本文の内容を遮らないでください。

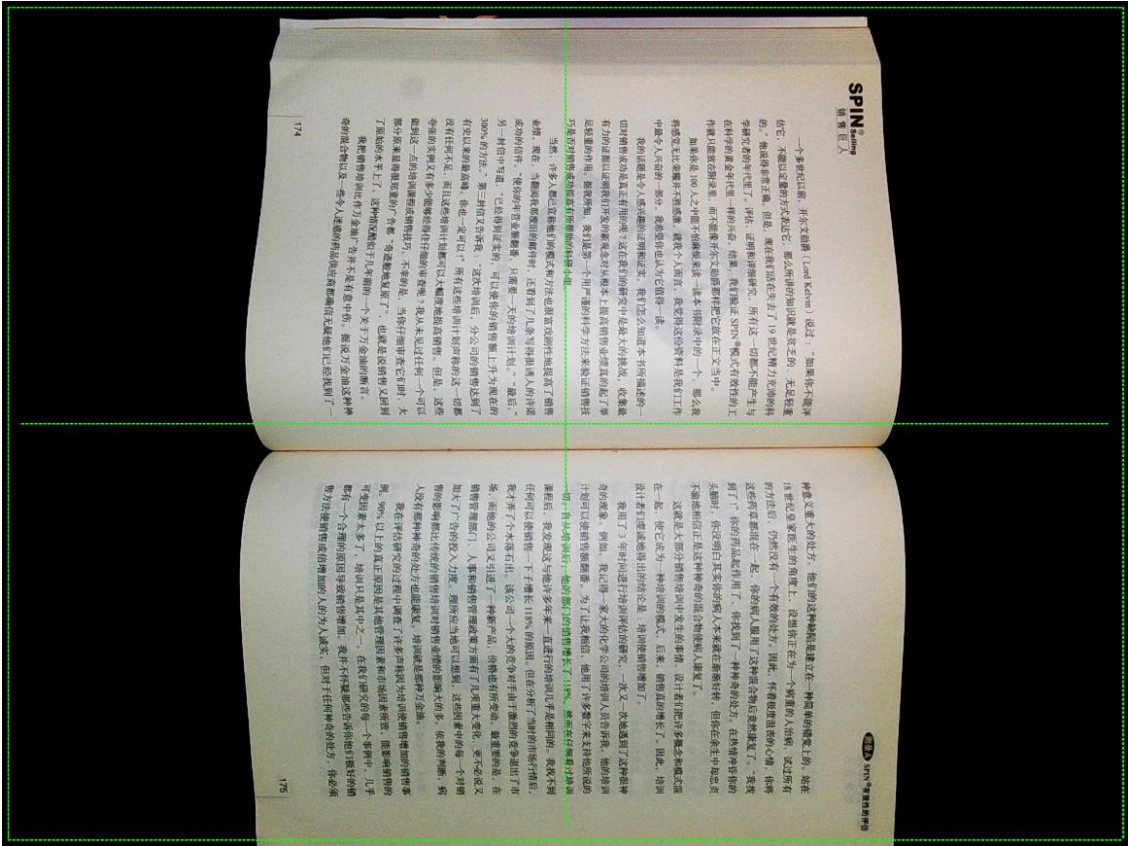


指で押さえる際、本の曲がりをできるだけ小さく、平らに押すようにする必要があります。



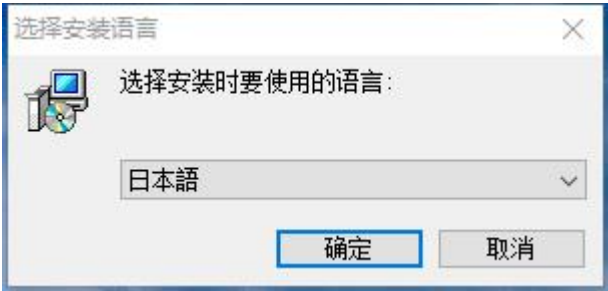


本の位置が間違った方向（上下）にある。左右の見開きで平らに置くべきです。また周囲に黒いスペースがなく、本の中心線も緑の点線と一致していません。

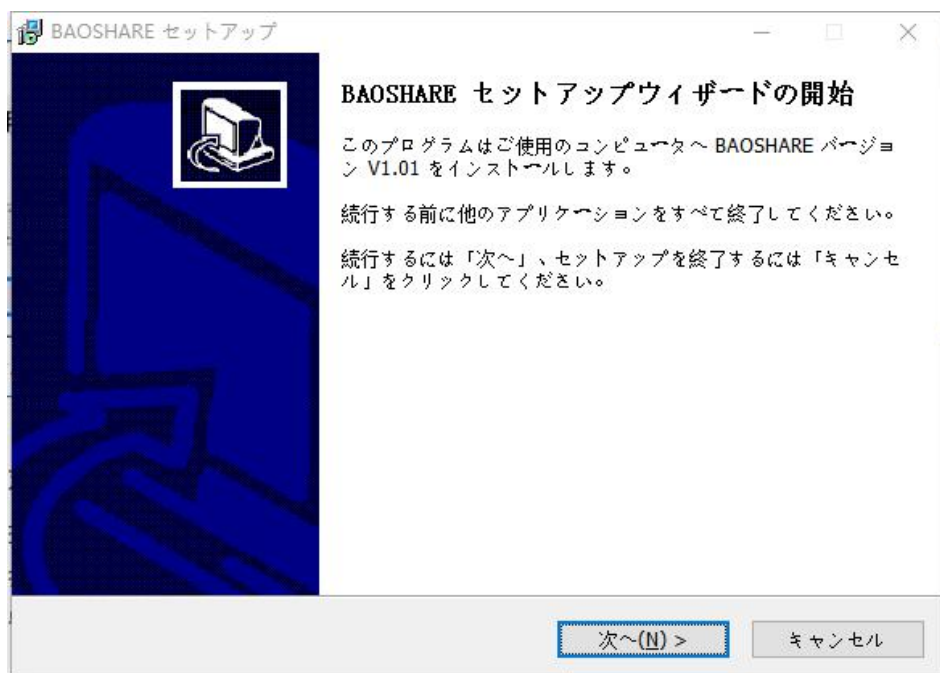


## 四、ソフトウェアインストール

1. BAOSHARE ポータブルスキャナーのインストールパッケージをクリックすると、[インストール言語の選択]ダイアログボックスが表示されますので、インストールする言語を選択して、[OK]をクリックします。



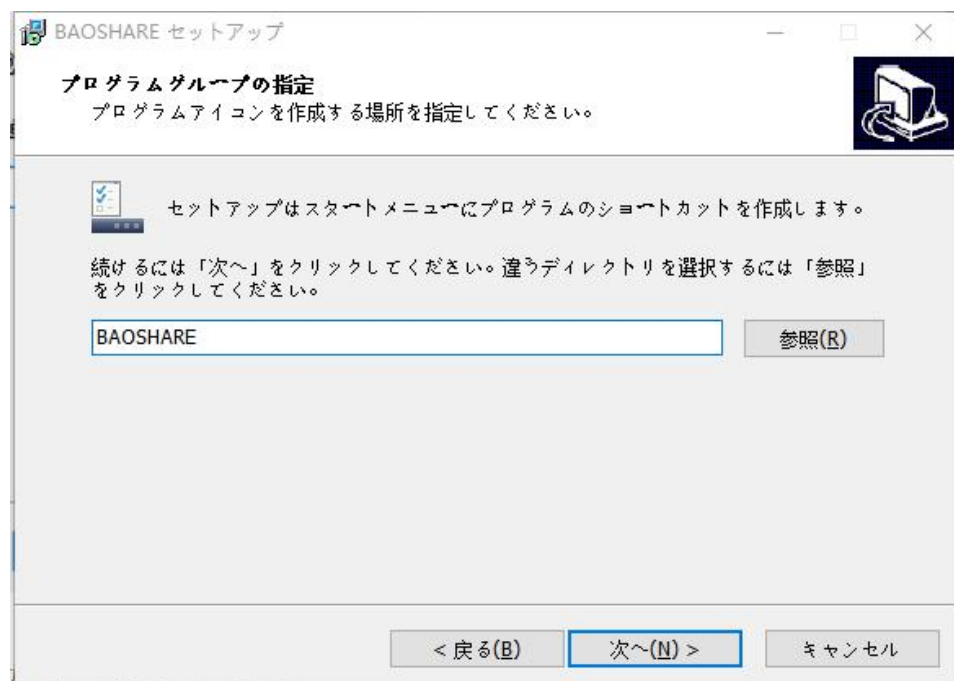
2.次のダイアログボックスが表示されたら、[次へ]をクリックします。



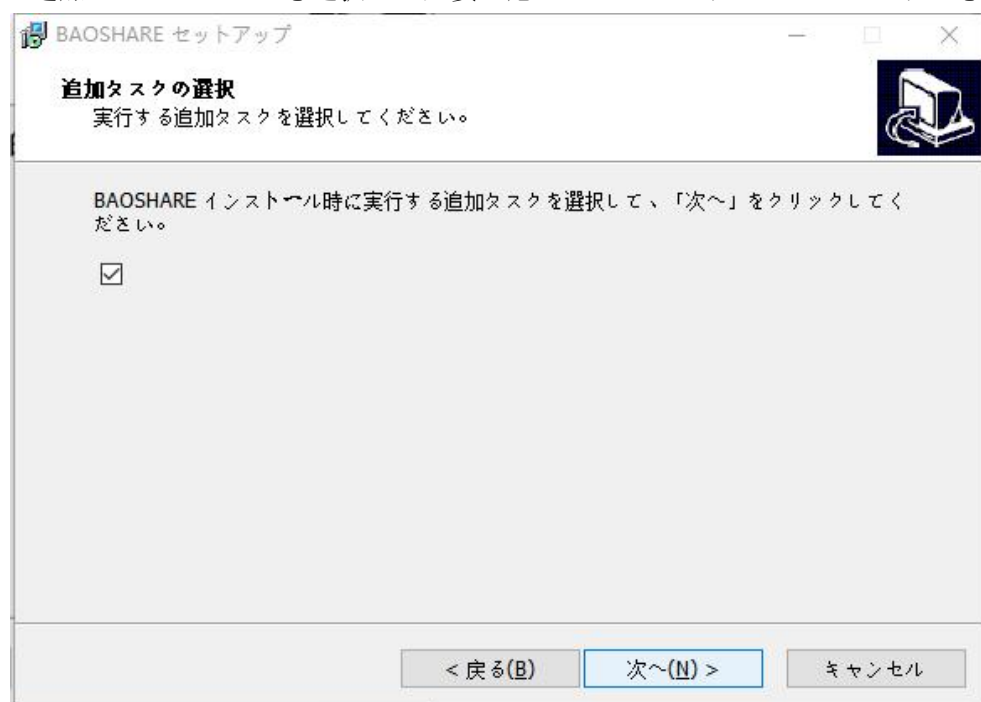
3.インストールディレクトリを選択作成できます。デフォルトのディレクトリの場合、[次へ]を直接クリックしてください。ユーザーがインストールパスをカスタマイズする必要がある場合は、次のことができます。参照ボタンをクリックすると、パス選択メニューが表示されます。パスを選択した後、[OK]をクリックすると、宛先フォルダーがユーザーが設定したパスに変更されます。確認後、[次へ]をクリックしてソフトウェアのインストールを続行します。



4. スタートメニューフォルダを選択し、ショートカットを作成します。  
ディレクトリを変更する必要がある場合は、参照ボタンをクリックし、設定後[次へ]をクリックしてください。

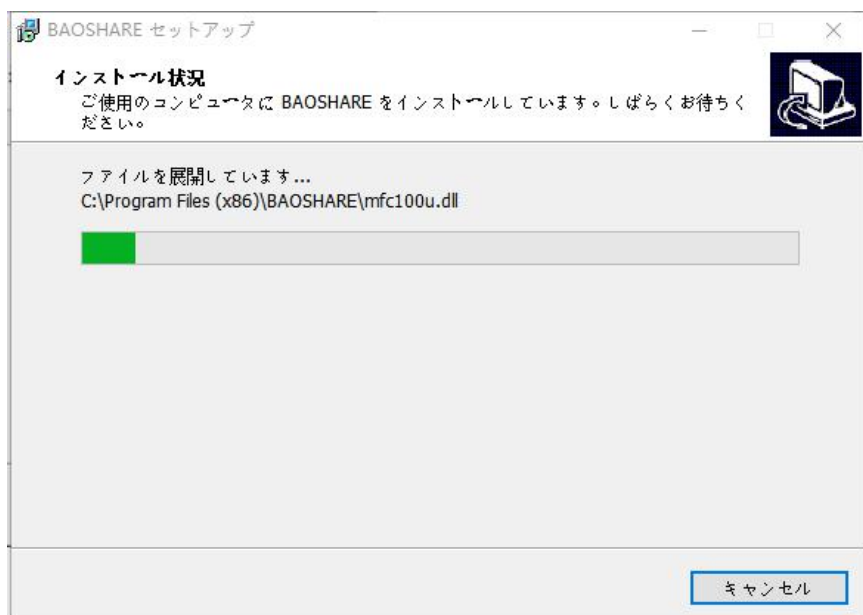
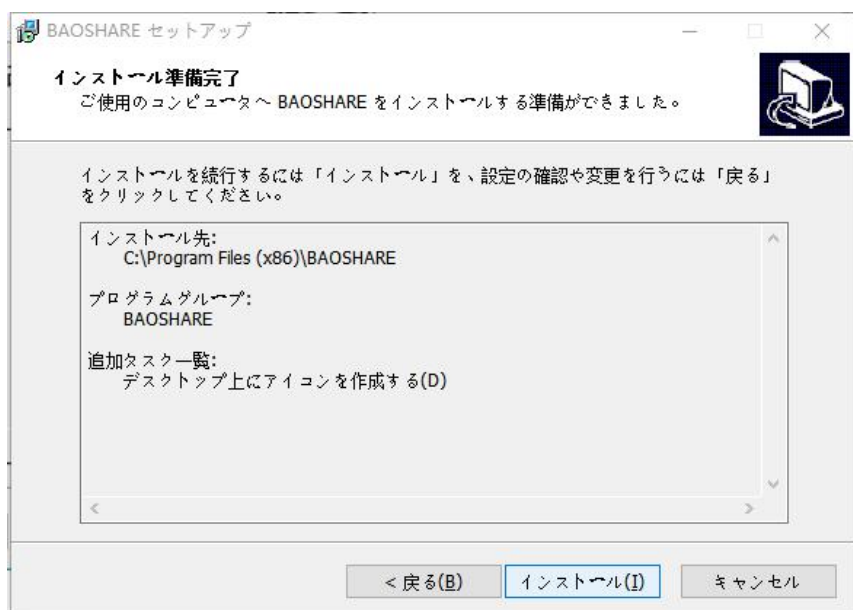


5. 追加のタスクページを選択し、必要に応じてデスクトップショートカットを作成し、[次へ]を選択します。



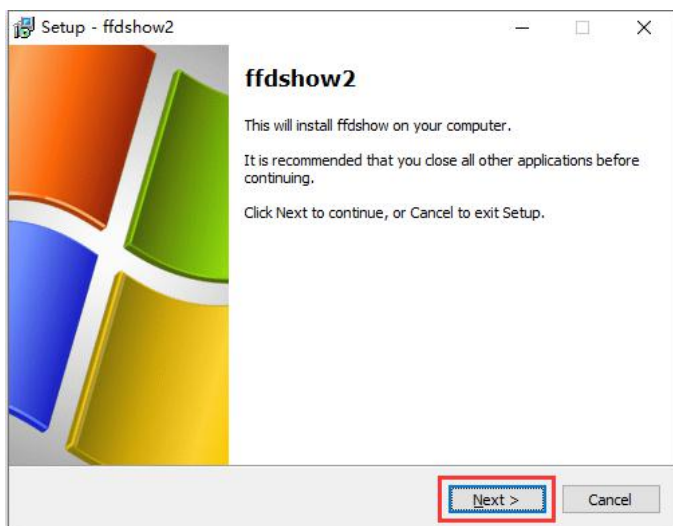
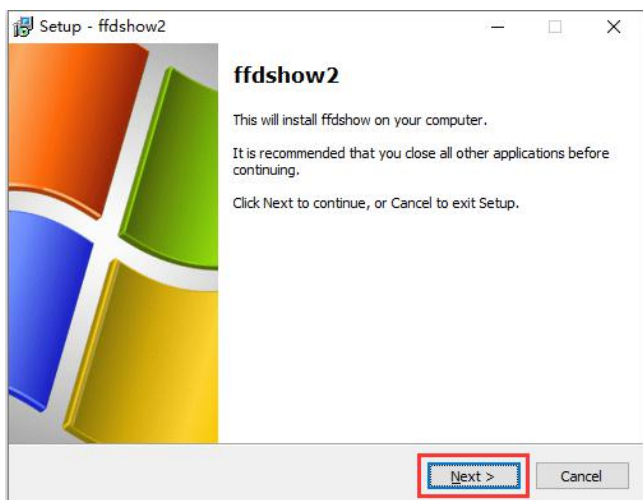
6. インストールを準備します。このインターフェイスは、上記の手順で設定した値を確認できます。変更する必要がある場合は、前の手順を選択して変更し、正しいことを確認して、[インストール]をクリックします。インストールが始まります。



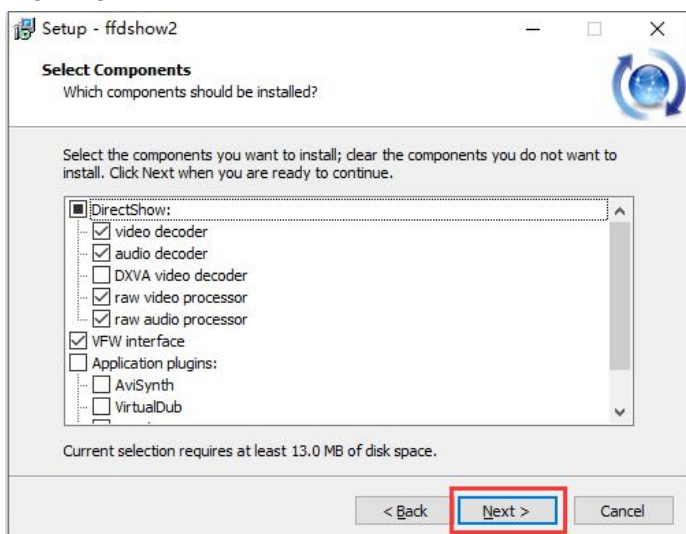


パソコンの OS が Windows7 かそれ以下のバージョンであれば、パソコン上で ffdshow2 をインストールするよう表示します。OS が Windows10 であれば ffdshow2 をインストールするようには表示しません。

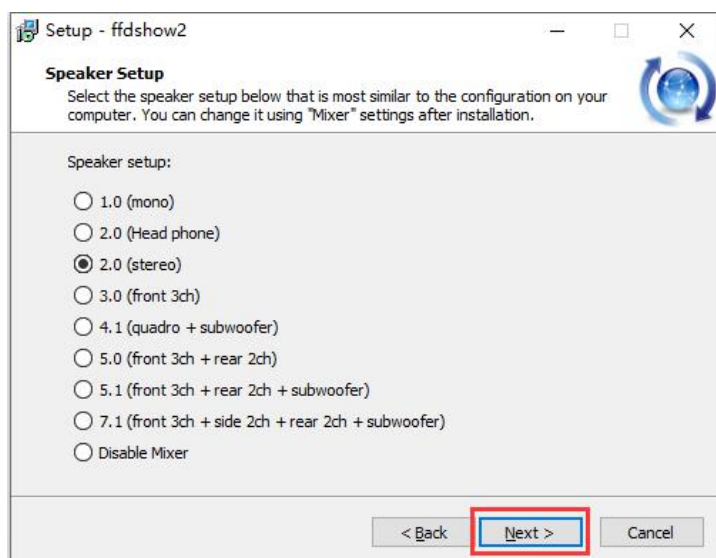
7. ffdshow2 インストール画面がポップアップしたら、[次へ]を選択します。



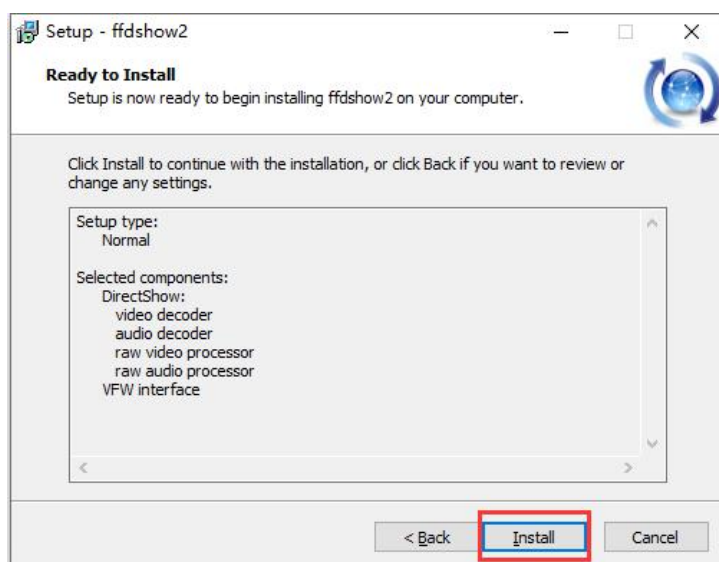
8. [次へ]をクリックします。



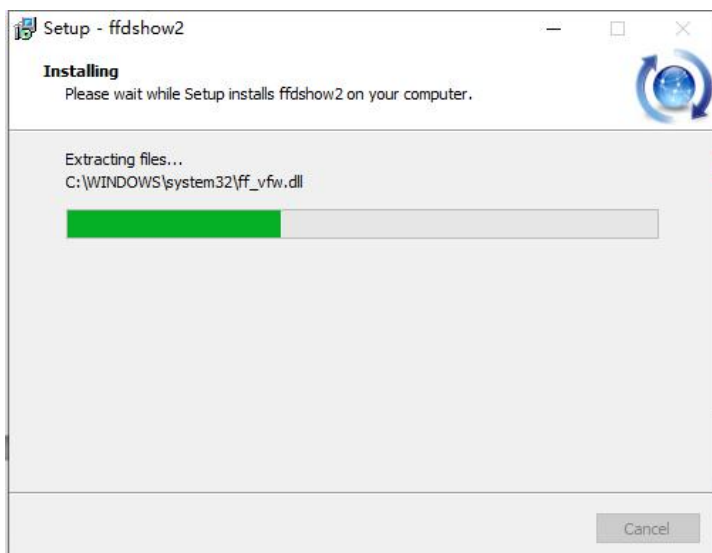
9. [次へ]をクリックします。



10.引き続き[インストール]をクリックします

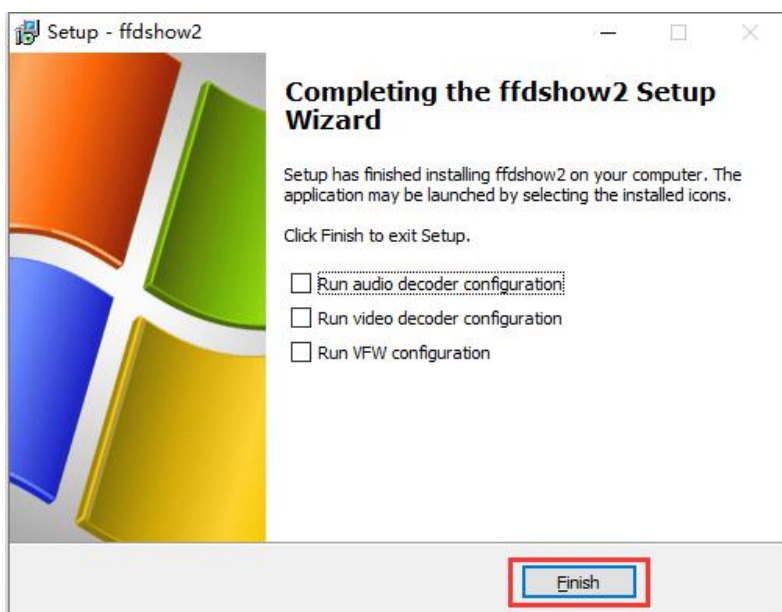






11. 「ノートン」、「マカフィー」などのセキュリティソフトウェアがインストールをブロックしている場合は、インストールを許可してください。

12. [完了]をクリックして、高速ドライバーのインストールを完了します。



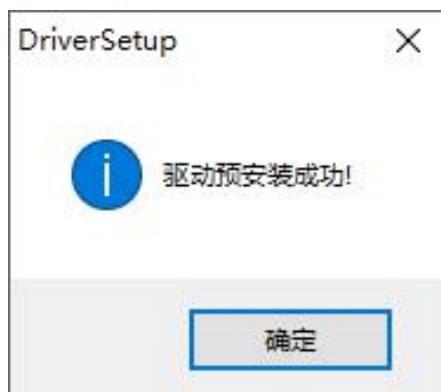
13. 「Sarialport」を選択し、「Finish」をクリックします  
ドライバのインストール手順を入力します



14. [インストール]をクリックします



15. 「ドライバーのインストールが成功しました」というプロンプトが表示されましたら、「OK」をクリックして完了し、ポップアップを閉じます。



## 五、 アンインストール

5.1 コントロールパネルから、対応するソフトウェアを選択してアンインストールします。

## 六、 ソフトウェアの説明

### 6.1 ソフトウェアの起動



このショートカットアイコンをダブルクリックしてソフトウェアを起動します。起動インター

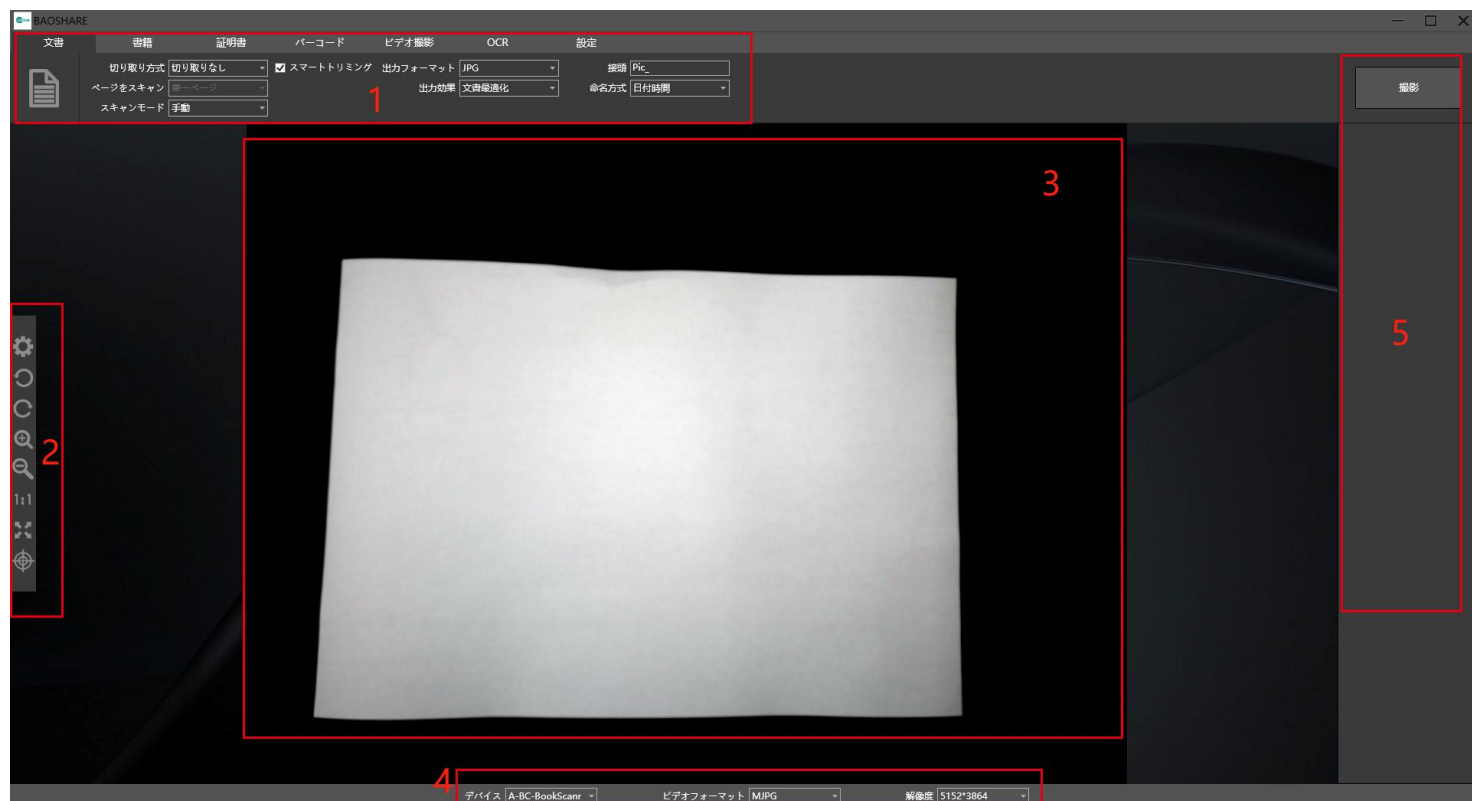
フェイスは次の図のようになります（6.2）

（6.2）

6.2 基本的なソフトウェアインターフェイスを次の図に示します。これは、5つの主要な領域に分かれています。

- 1 エリアは機能領域です
- 2 エリアは補助機能です
- 3 エリアはプレビューです
- 4 エリアはデバイス情報です
- 5 エリアは出力ファイル一覧です

各汎用モジュールのインターフェイスは異なり、以下の内容を個別に紹介します。





# 七、ソフトウェア機能紹介

## 7.1 ソフトウェア導入に関する注意事項

7.1.1 機能アイコンが明るく強調表示されると、この機能が使用可能であることを示します。アイコンはグレー表示されると、この機能が使用できないことを示します（次の内容は繰り返されません）

7.1.2 各機能モジュールは同じ機能を持っています。各モジュールの機能を説明するときは、新しい機能を選択します。（同様の機能は繰り返しません）

7.1.3 ソフトウェア機能の設定はデフォルトで保存されます（たとえば、「自動切断」機能を選択した後、ソフトウェアを再起動した場合デフォルトで最後の切断方法を選択しています。）

## 7.2 機能領域の概要

### 7.2.1 ドキュメントモード

#### 7.2.1.1 切断方法（デフォルトでは切断なし）

ドロップダウンをクリックして、「自動切断」または「手動切断」を選択します

#### 7.2.1.2 スキャンモード

ドロップダウンをクリックして、[手動]または[自動]を選択します

手動：手動でクリックして撮影する必要があります

自動：クリックして連続撮影を開始し、撮影ファイルの変更動作を自動検出します。画像が安定すると、カウントダウン「3」「2」「1」が表示されます。その後、自動的に撮影します。

#### 7.2.1.3 スマートトリミング

撮影ファイルの外側の領域を自動的に白で塗りつぶします（通常は原色で、出力効果ードキュメント最適化を使用した場合、白い背景を出力します。）

#### 7.2.1.4 スキャンページ

ドロップダウンをクリックして、「単一ページ」または「複数ページ」を選択します

単一ページ：撮影すると、単一ページのファイル出力が直接生成されます

マルチページ：マルチページ撮影は、「出力フォーマット」が「画像 PDF」の場合のみ有効です。複数のページを選択する前に、「出力フォーマット」を「画像 PDF」に切り替えてください

#### 7.2.1.5 出力フォーマット

ドロップダウンをクリックすると、出力形式は JPG / BMP / PNG / TIF /画像 PDF / TXT / Word / Excel /テキスト PDF になります。

#### 7.2.1.6 出力効果

ネイティブカラー：元の画像出力を処理しません

グレースケール：

二値化：

ドキュメントの最適化：白い背景（通常はスマートトリミングで使用されます）

#### 7.2.1.7 出力ファイルの名前を付ける：

7.2.1.7.1 名前を付ける方法を「番号」として選択し、「頭文字」入力ボックスにファイル名の頭文字を入力します（次の文字は使用できません。 \ / : \* ? " < > | ）

生成されたファイル名の形式：頭文字+0001 . .

例：頭文字は ASD、生成されたファイル名は ASD0001.....

#### 7.2.1.7.2 「日付と時刻」として名前を付ける方法を選択します

出力ファイル名は、現在のコンピューター時間に合わせて名付けられます。

### 7.2.2 ブックモード。

### 7.2.2.1 平坦化

ド롭ダウンをクリックして、「フラット化なし」、「シングルページフラット化」、「ダブルページフラット化」を選択します。

単一ページの平坦化: 本の左右のページを平坦化して、1 ページの出力を生成します。

2 ページの平坦化: 平坦化された本は、ソフトウェアプレビューの中心線に沿って左右のページに分割され生成されます。

### 7.2.3 証明書モード

証明書モードは、ID カードや免許証などの撮影に適しています。

### 7.2.4 ビデオ録画モード

#### 7.2.4.1 記録ソース

ド롭ダウンをクリックして、録音ソースの「画面」と「カメラ」を選択します。

#### 7.2.4.2 記録形式

ド롭ダウンをクリックして、記録ファイルの形式「MP4」と「WMV」「AVI」を選択します。

#### 7.2.4.3 フレームレートの記録

ド롭ダウンをクリックして、記録されたビデオフレームレートを選択します

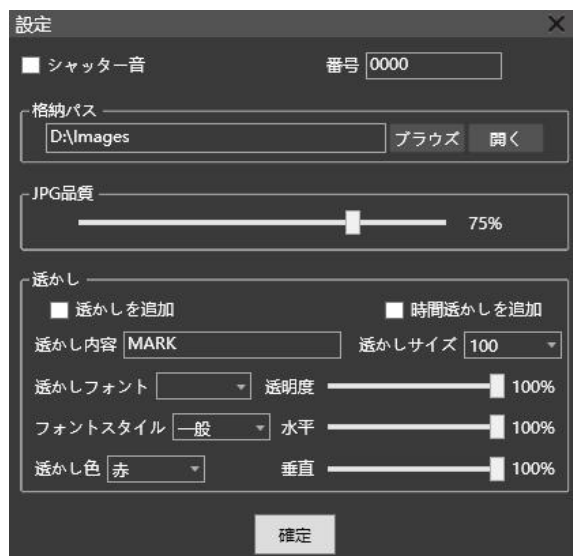
### 7.2.5 OCR

7.2.5.1 OCR の開始: OCR を直接クリックして開始します。セキュリティソフトウェア（ノートン、マカフィーなど）でブロックされている場合、セキュリティソフト上ですべての操作を許可してください。

7.2.5.2 一般的な操作手順: 認識される必要のある画像を開きますー認識された言語を選択しますー認識領域を選択します（選択されていない場合、すべてがデフォルトで認識されます）

### 7.2.6 設定モード

設定オプションをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。



#### 7.2.6.1 シャッター音

チェックすると、写真を撮るときに音がでます。

#### 7.2.6.2 ストレージパス

カスタム出力ファイルの保存パス

#### 7.2.6.3 JPG 品質

出力ファイルが JPG 形式の場合、このオプションは出力ファイルサイズを圧縮することになり、**それに応じてファイル品質が低下します**。必要に応じて調整してください。

#### 7.2.6.4 ウォーターマーク

「ウォーターマークの追加」にチェックを入れて、出力ファイルにウォーターマークを追加します。

ダイアログボックスでは、ファイルタイプ、コンテンツ、フォント、透明度、サイズなどのプロンプトに従って透かしを編集できます。

デフォルトでタイムウォーターマークを使用するには、[タイムウォーターマークを追加]をオンにします。形式は現在のコンピューター時間（年、月、日、時、分、秒）です。設定後、「OK」をクリックして終了します

### 7.2.7 テクニカルサービス

「テクニカルサービス」をクリックすれば、テクニカルサービス「ウェブサイト」または「電話」または「その他の方法」を選択できます。

## 7.3 補助機能領域の概要



### 7.3.1 設定:

[設定]をクリックして、次のダイアログボックスをポップアップします

#### 7.3.1.1 調整可能なデバイスの明るさ/コントラスト

/露出などのパラメータ

#### 7.3.1.2 メインカメラ画像と補助カメラ画像が融合し、機器のサポートが必要になります。マージ位置とサブ画面のサイズを選択できます。



### 7.3.2 反時計回り:

クリック毎は反時計回りに 90°回転します。



### 7.3.3 時計回り:

クリック毎は時計回りに 90°回転します。



### 7.3.4 ズームイン:

プレビュー画像ズーム



### 7.3.5 ズームアウト:

プレビュー画像のズームアウト



### 7.3.6 1 : 1 :

1: 1 プレビュー画像



### 7.3.7 サイズに合わせる:

サイズに合わせるプレビュー画像（プレビュー画像を圧縮して、撮影範囲内のすべてを表示します）



### 7.3.8 焦点:

対応する機器のサポートが必要



### 7.3.9 セカンドカメラをオン:

対応する機器のサポートが必要



## 7.4 デバイス情報エリアの機能紹介

7.4.1 デバイス情報領域には、現在接続されているデバイス、ビデオ形式、および解像度が表示されます。解像度は、要件に応じて選択できます。デバイスの解像度を選択します

## 7.5 出力ファイルリスト領域

7.5.1 「撮影」作品の様々なパラメータを設定した後、撮影出力をクリックします

7.5.2 出力ファイルは、サムネイルの形式でリスト領域に表示されます。ファイルを右クリックして、関連する操作を実行します。

# 八、一般的なトラブルシューティング

故障 1: ハードウェアが認識されない（ソフトウェアが図に示されておらず、デバイスがデバイス情報領域で認識されない）

1. アダプターが確実に差し込まれているか確認してください。
2. データケーブルがコンピューターに正しく挿入されていること、およびコンピューターのデータインターフェイスが正常であることを確認します（USBなどを差してみても接続口が正常かどうか確認してください。）
3. コンピューターの他のポートに再挿入します（デスクトップコンピューターの背面パネルのUSBポートに挿入することをお勧めします）
4. デバイスマネージャーがカメラを認識しているかどうかを確認します。
5. デバイスマネージャーのカメラが無効になっているかどうかを確認します。

障害 2: ハードウェアを識別しているが、描画していない。

1. ダウンロードしたアプリケーションソフトウェアが正しいことを確認します
2. ソフトウェアが正常にインストールされていることを確認します（ダウンロードして再度インストールしてみてください）

障害 3: 不鮮明

1. 解像度が正常かどうかを確認します（解像度が高いほど、鮮明度が良くなります）
2. 撮影時に揺れがあってはなりません
3. レンズが明らかに汚れているかどうか
4. 再焦点

障害 4: フィルライトが点滅する。

1. アダプターが接続されているかどうかを確認します。
2. アダプターの電源ソケットに電源がきているかどうかを確認します。

ご不明な点がございましたら、[sales\\_bdjp@163.com](mailto:sales_bdjp@163.com) までお問い合わせください。

# Content

|   |    |
|---|----|
| 1 System requirements.....                              | 22 |
| 2 Device introductions .....                            | 22 |
| 2.1 Host parts introductions.....                       | 22 |
| 2.2 Device interfaces introductions.....                | 22 |
| 2.3 Device installation instructions.....               | 23 |
| 2.4 Touch control button function introductions.....    | 23 |
| 3 Book scanning operation standard.....                 | 24 |
| 4 Software installation .....                           | 29 |
| 5 Software uninstall .....                              | 34 |
| 6 Software interface introductions .....                | 34 |
| 7 Software function introductions .....                 | 35 |
| 7.1 Software introduction Notes for attention .....     | 35 |
| 7.2 Functional area introductions.....                  | 35 |
| 7.3 Auxiliary functional area introductions.....        | 37 |
| 7.4 Device information area function introductions..... | 38 |
| 7.5 Output file list area introductions .....           | 38 |
| 8 General problems of device in use.....                | 39 |

# 1 System requirements

Minimum requirement

CPU: i3 series and above

Memory: 4GB or above

Hard disk: 50GB or more free space

Operating system: Windows XP/Win7/Win8/Win10

Recommendation

CPU: i7 series

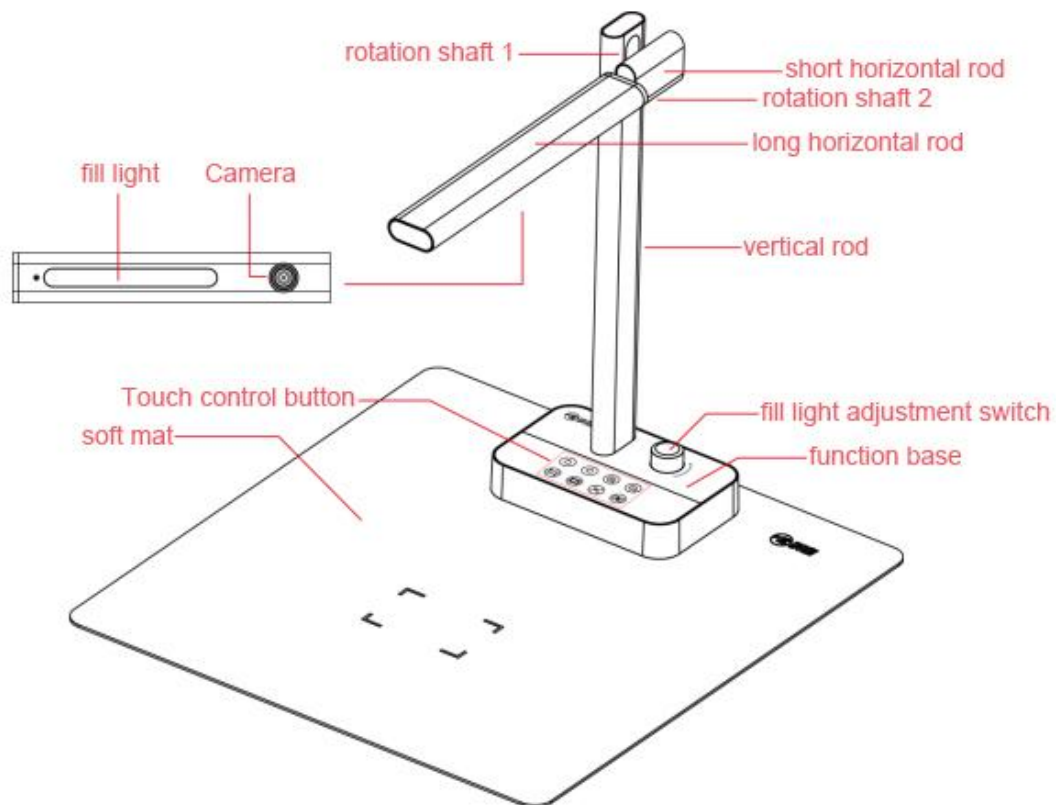
Memory: 8GB

Hard disk: 500GB

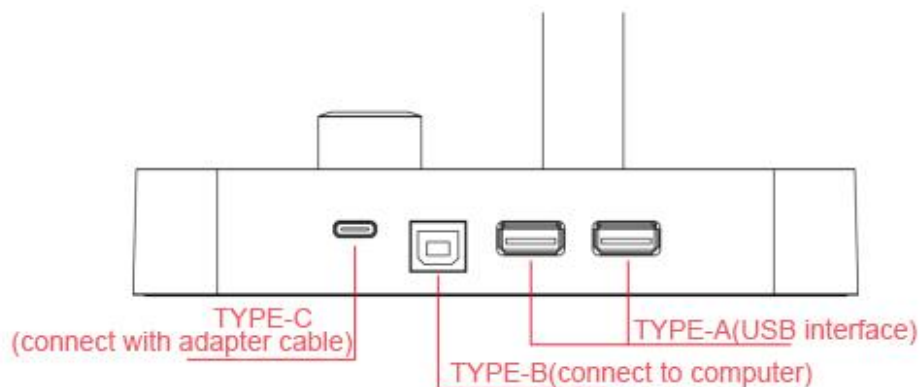
Operating system: Win7/Win8/Win10 64 Bit

## 2 Device introductions

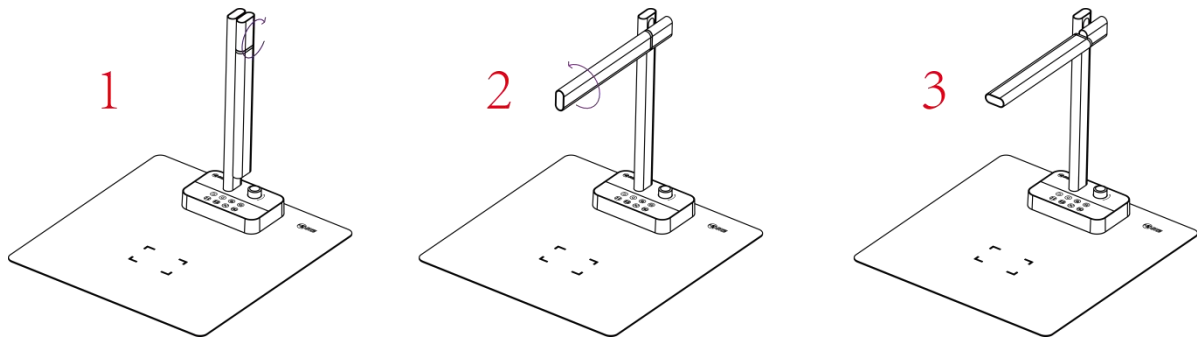
### 2.1 Host parts introductions



### 2.2 Device interfaces introductions



## 2.3 Device installation instructions



2.3.1 Place the scanner in the corresponding position on the soft mat

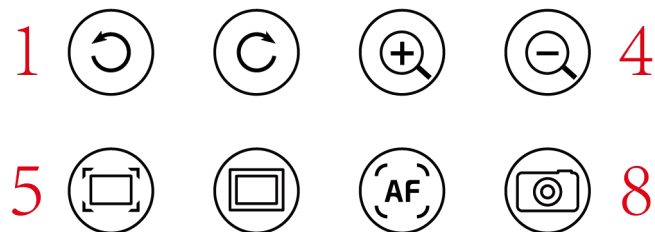
2.3.2 The horizontal rod rotates horizontally in the direction of the arrow (Picture 1)

2.3.3 The long horizontal rod rotates horizontally in the direction of the arrow (Picture 2)

2.3.4 Connect the scanner to the computer with USB cable

2.3.5 Install the software on the computer and turn it on

## 2.4 Touch control button function introductions



1. Rotate 90° counterclockwise

2. Rotate 90° clockwise

3. Zoom in

4. Zoom out

5. 1:1

6. Screen size

7. Refocus

8. Capture

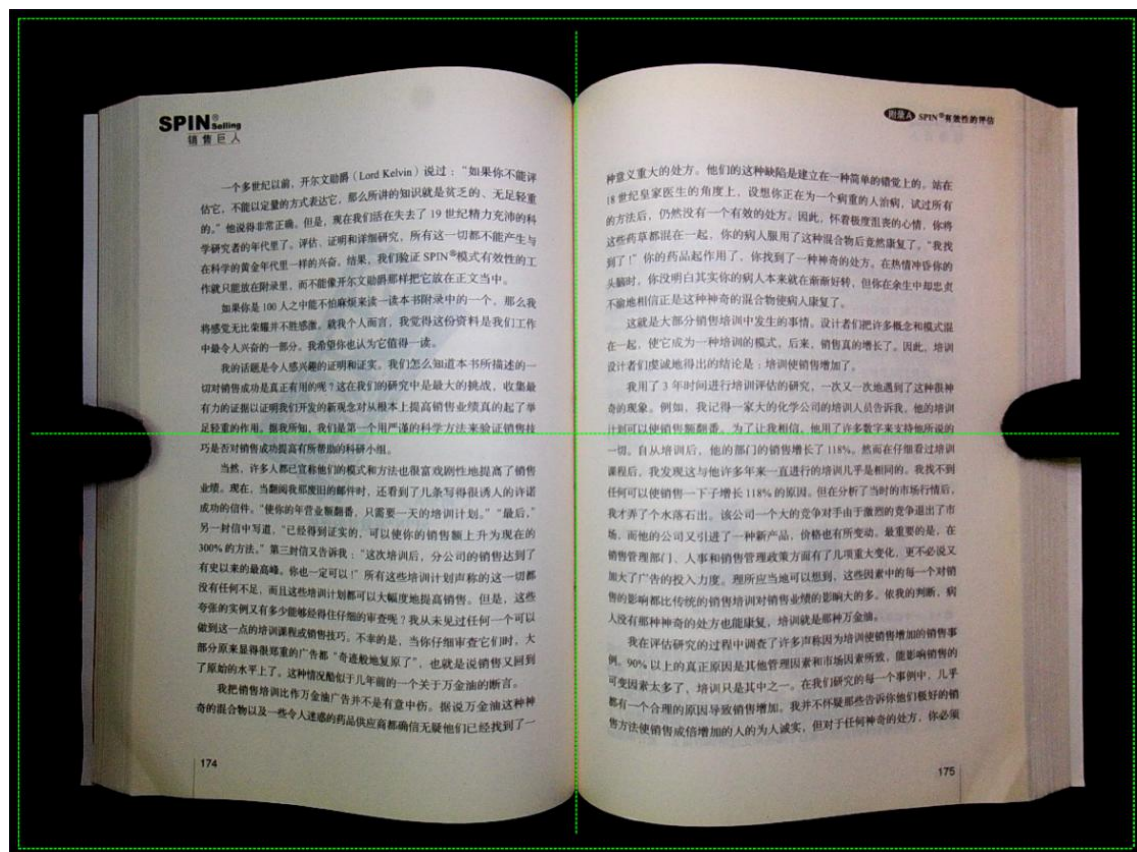


# 3 Book scanning operation standard

## Standard operation

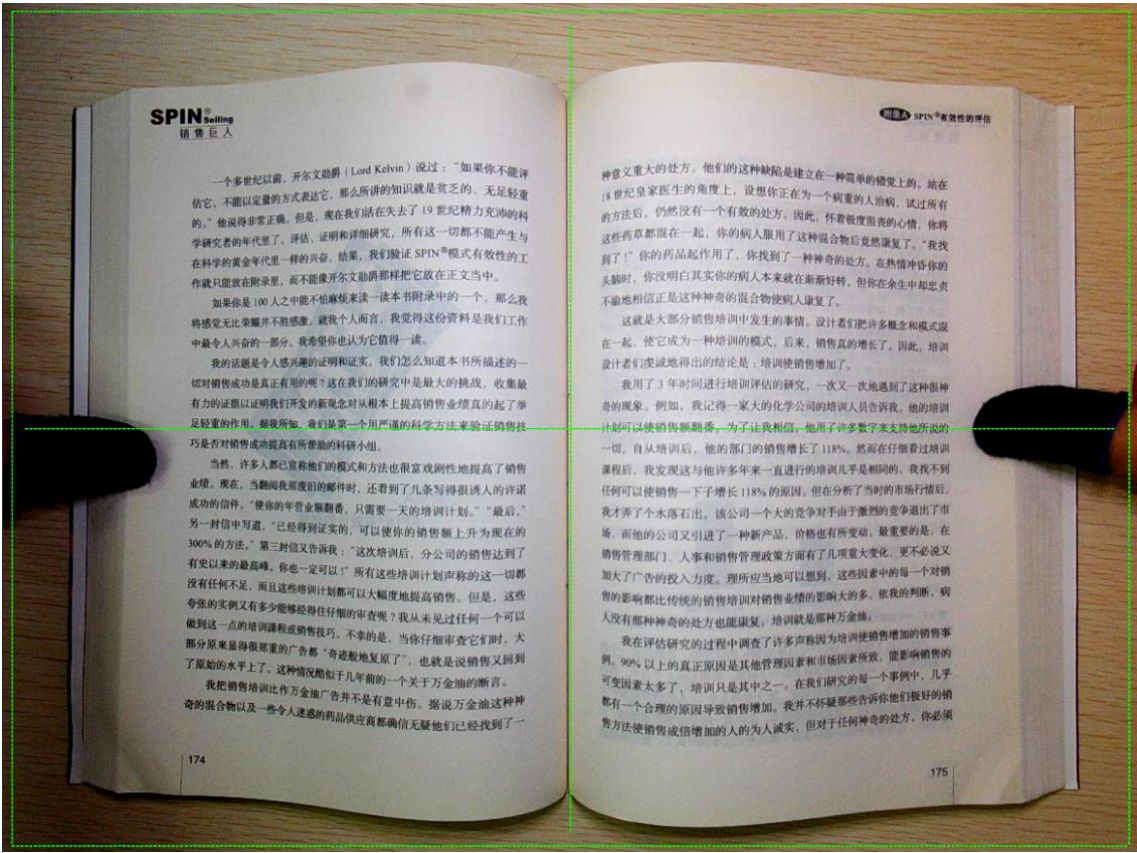
The following rules must be followed when capturing:

- 1) The background must be a **black** desk or mat.
  - 2) The book should be **as flat as possible and not askew**.The middle of the book should be aligned with the dotted green line.
  - 3) Black must be left around between the periphery of the book and the green boxes.
  - 4) If the book is too thick, you need to press it flat with your finger gloves
  - 5) The position of the finger is in the middle of the left and right pages.
  - 6) Wear black finger gloves.
  - 7) The position pressed by the finger gloves cannot cover the content of the book, such as text and images.
- (Standard illustration is as follow)

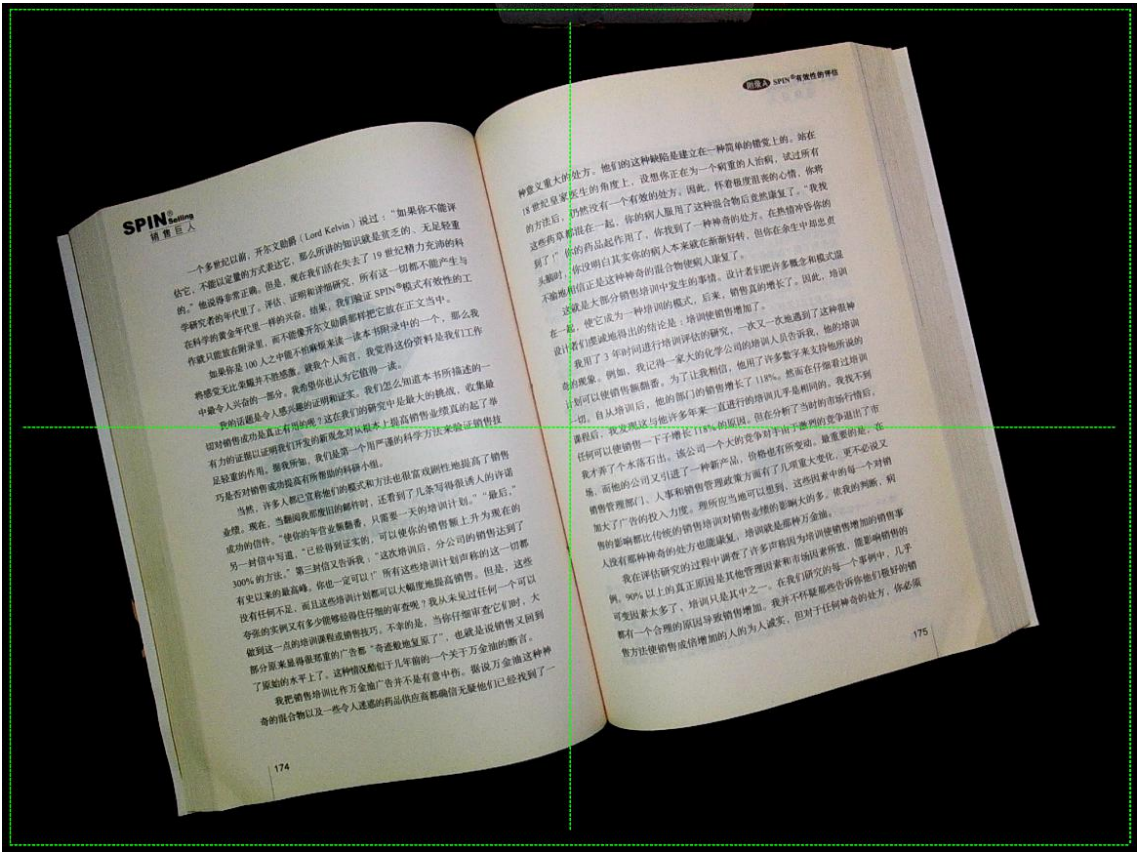


# Not standard operation

The background of the book is not black, you need to use a black desk or mat

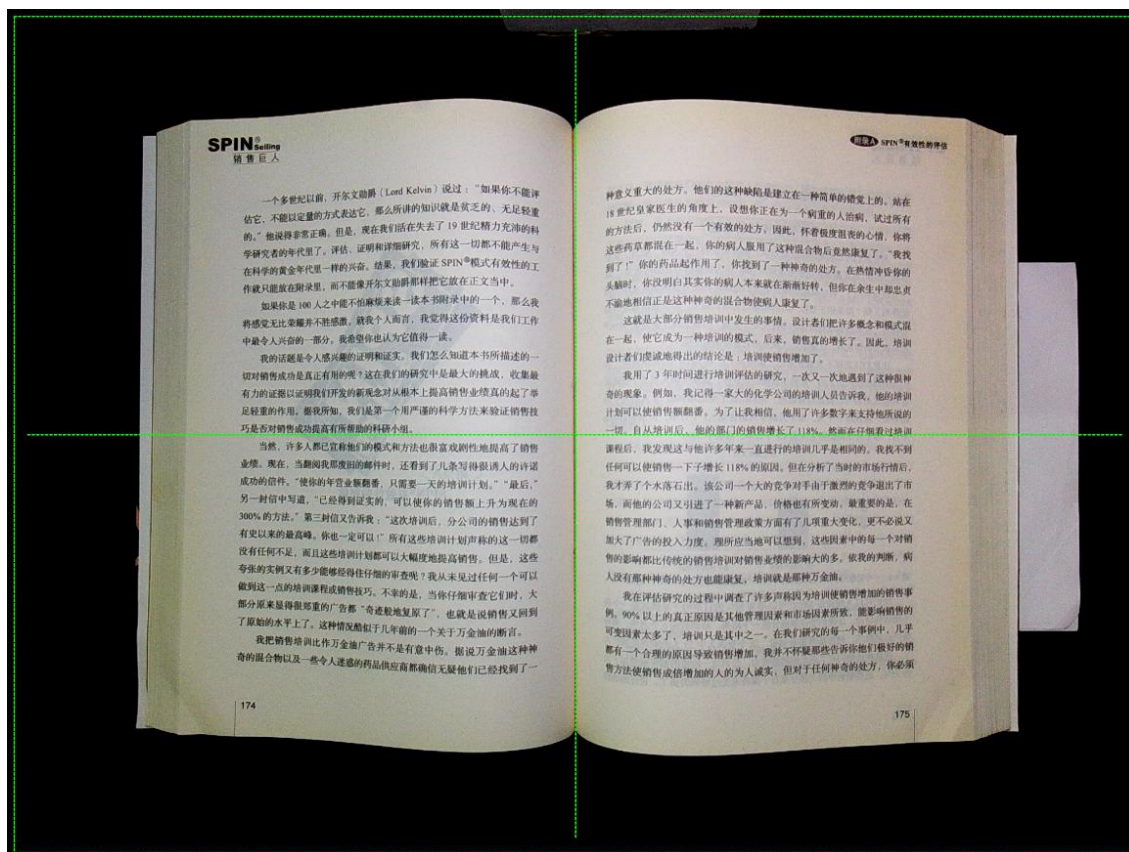


The book is askew and not aligned with the dotted green line in the middle

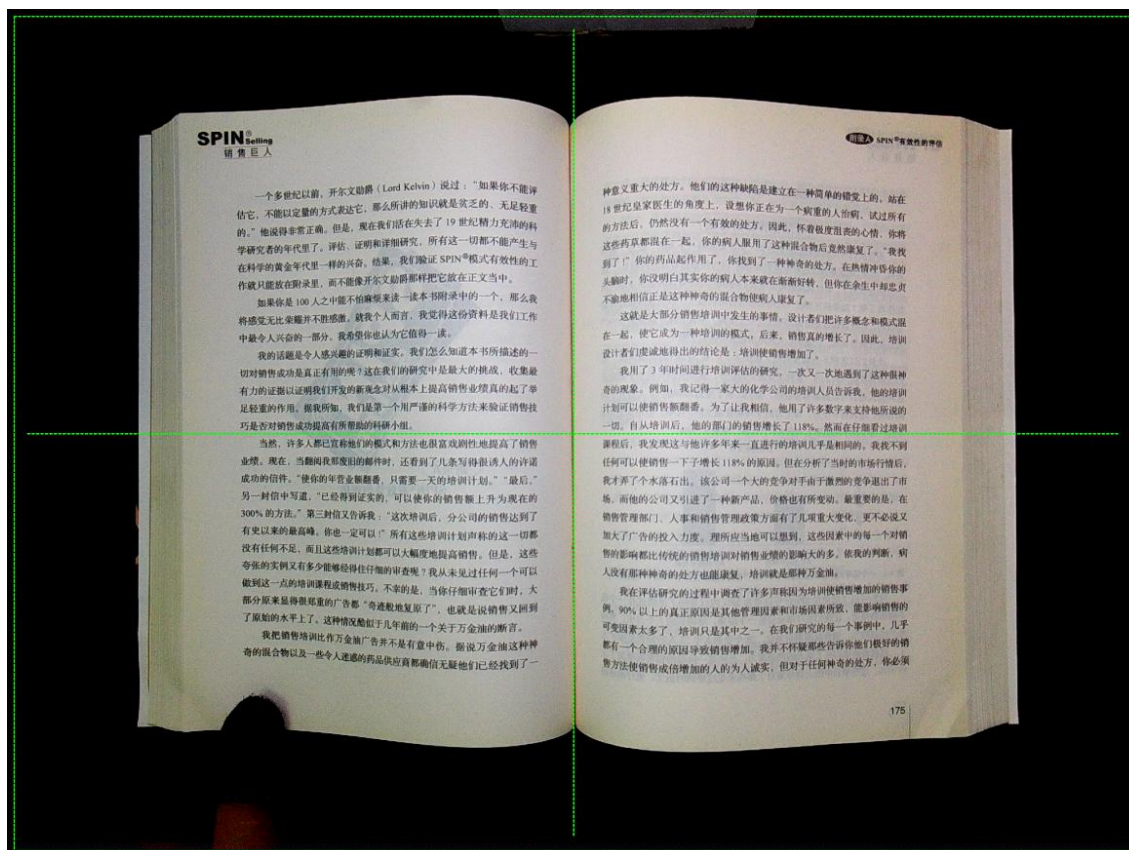




The right side of the book is not black. All the sides should be black.

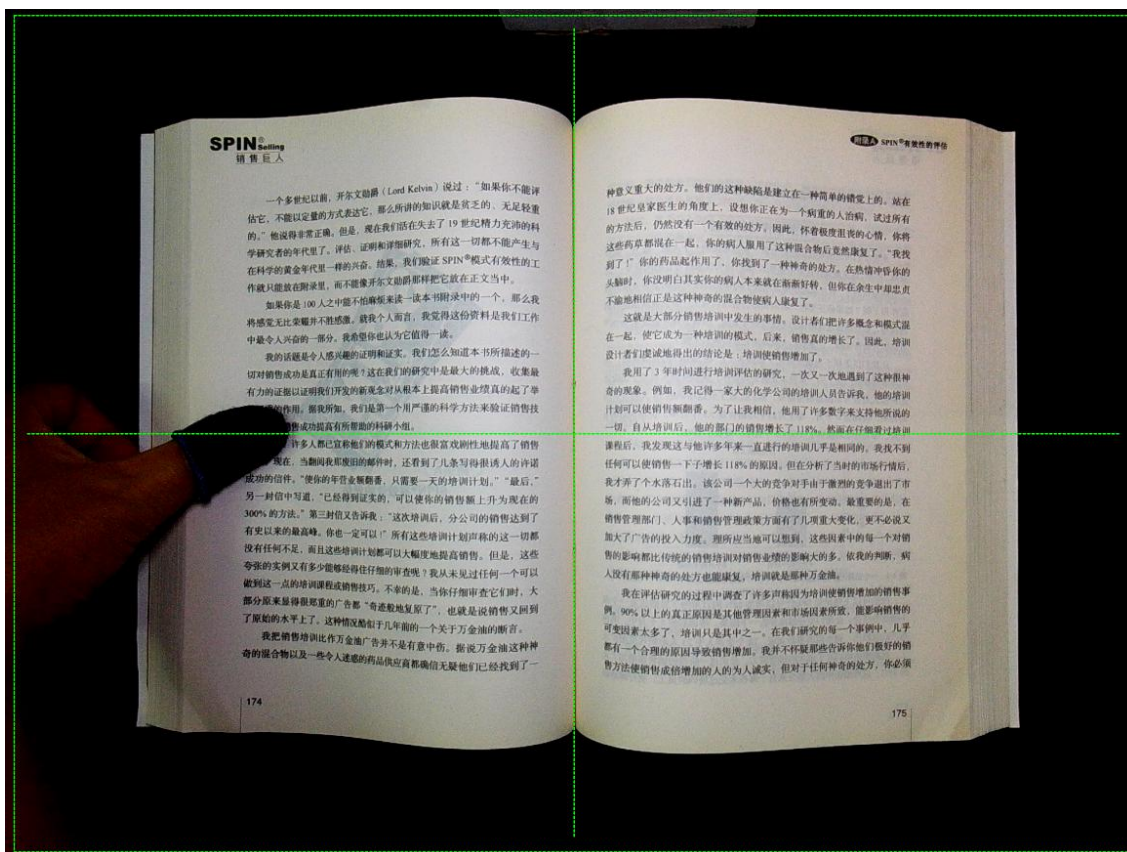


Finger pressing is in the wrong position. Finger pressing should be only in the middle of the left and right pages of the book

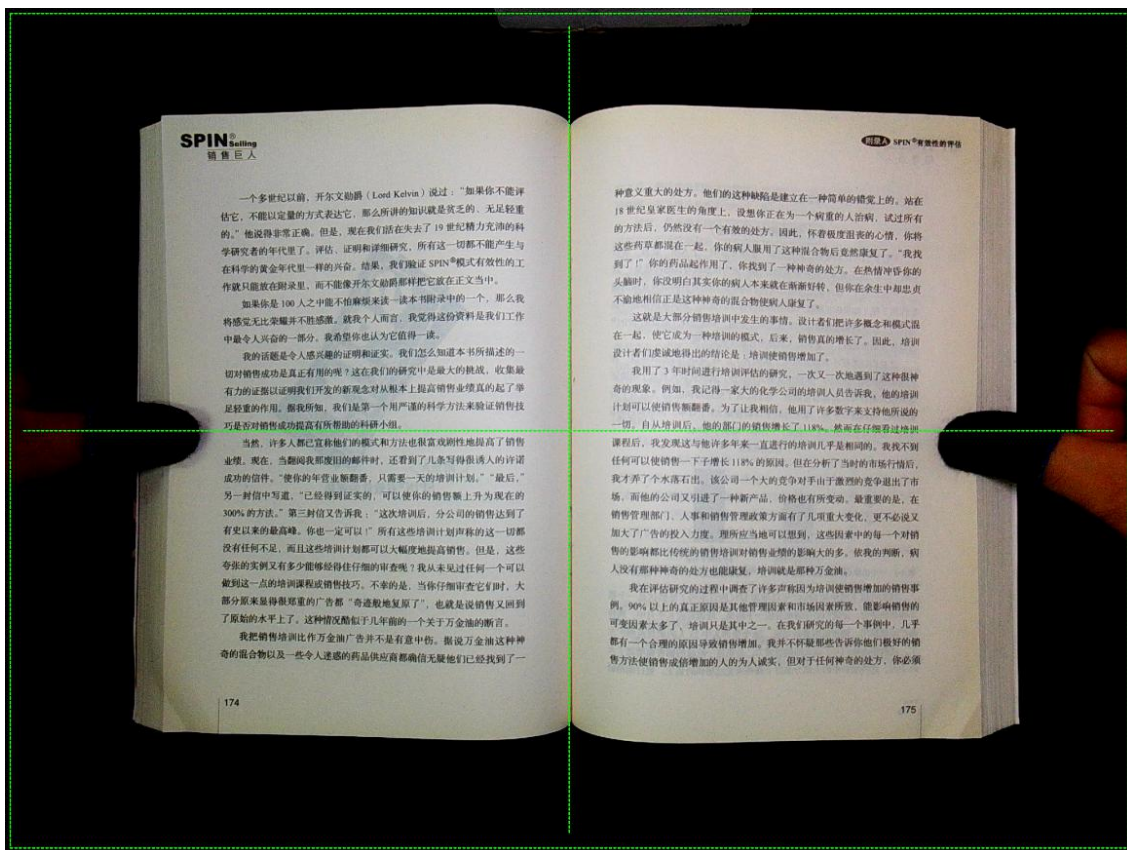




Fingers cannot cover the contents of the book

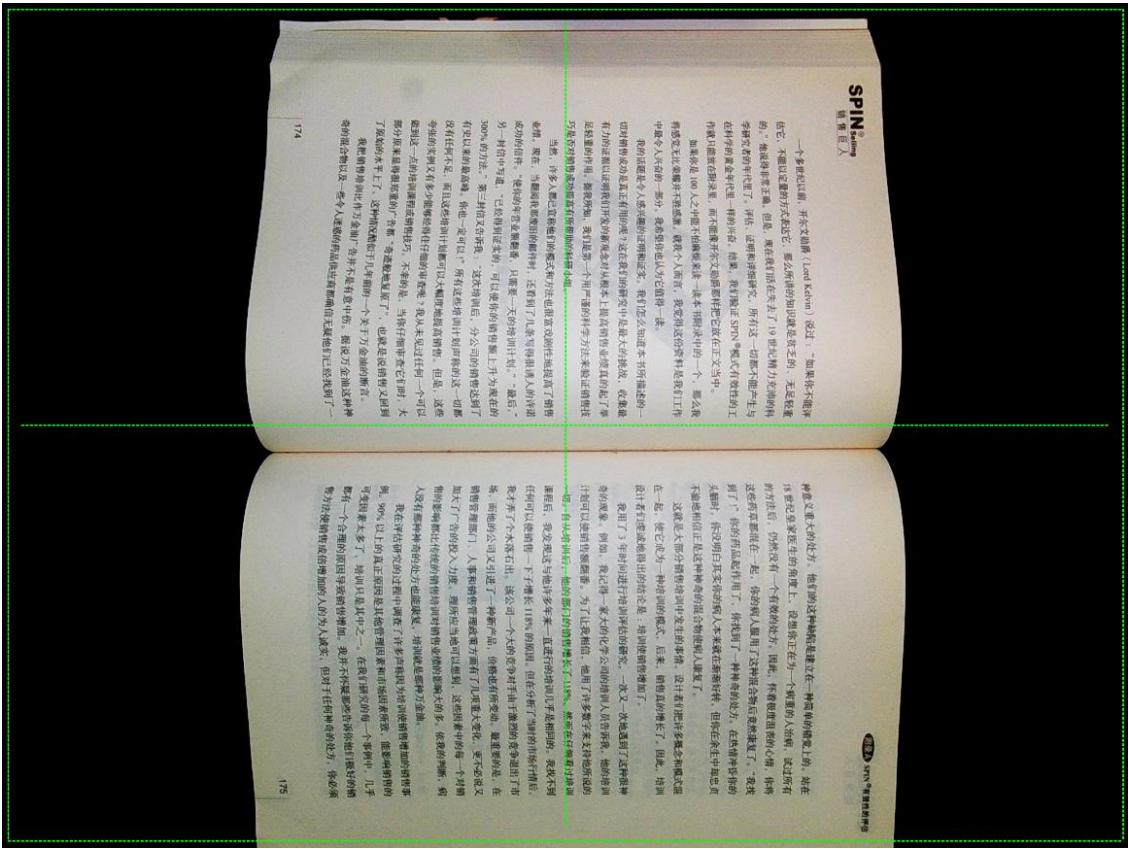


The finger should press the book as flat as possible



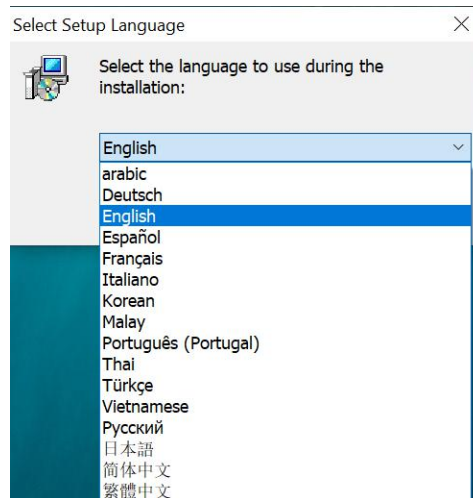


The book is in the wrong direction (up and down). It should be left and right. And it's not all black around the book. Black must be left around between the periphery of the book and the green boxes. The centerline of the book is not aligned with the dotted green line.

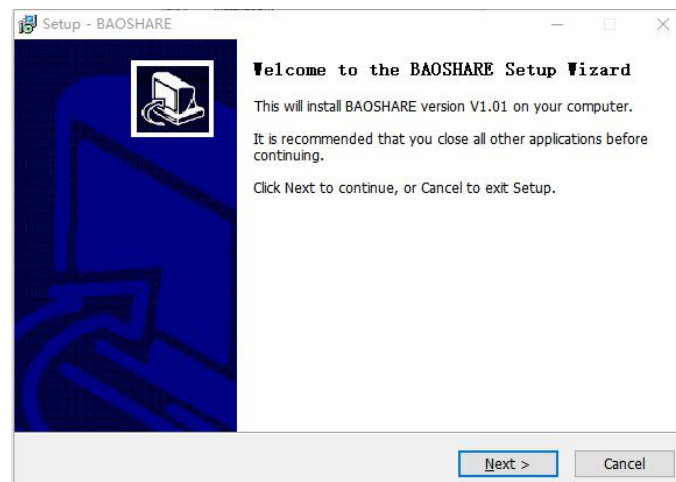


## 4 Software installation

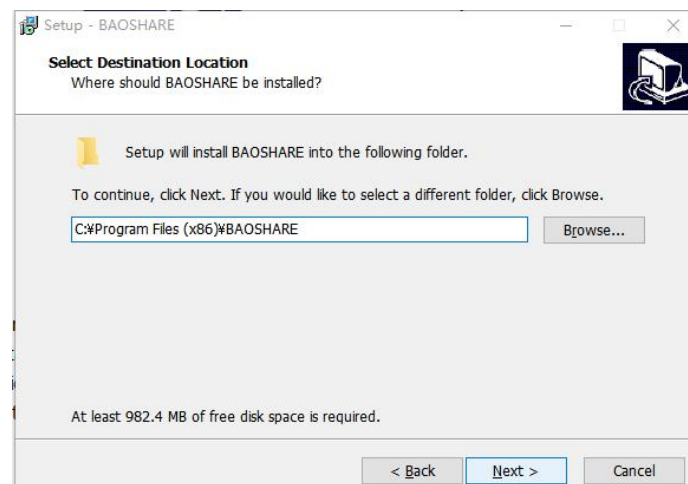
1. Double-click the Software installation package, when the following dialog box pops up, please choose the language of software you need.



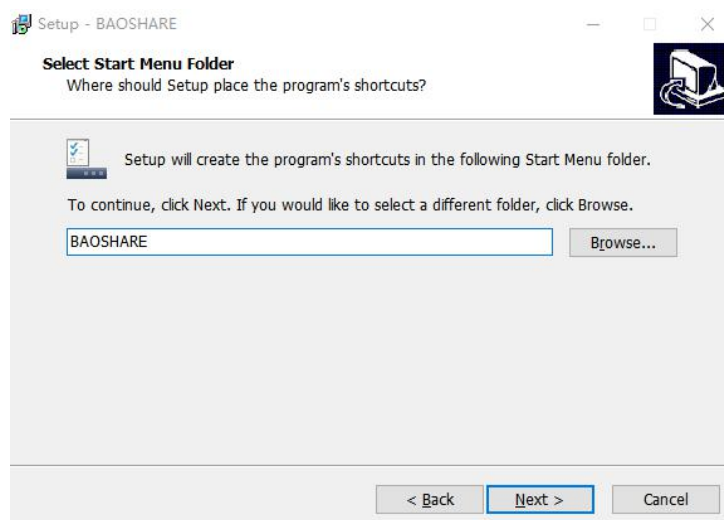
2. Click **【Next】**.



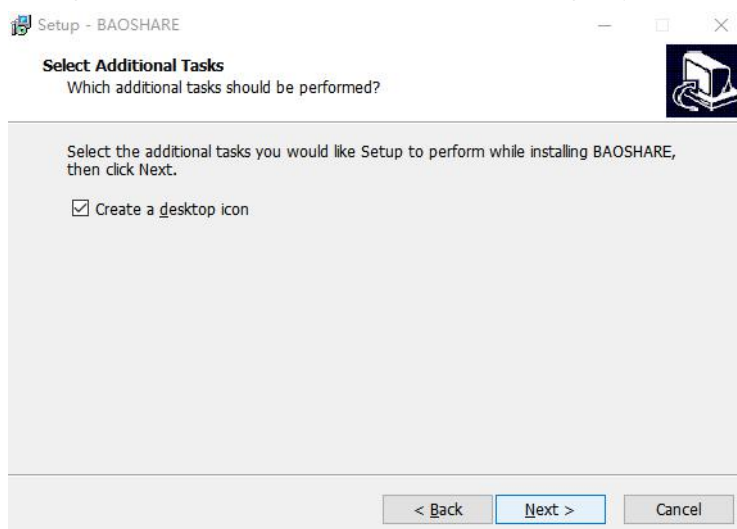
3. Custom installation path interface. The default installation path, please directly click **【Next】**; If the user needs to customize the installation path, you can click browse button, which will pop up the path selection menu. After selecting the path, click **【OK】**, and the target folder will be changed to the path set by the user. After confirmation, click **【Next】** to continue the software installation.



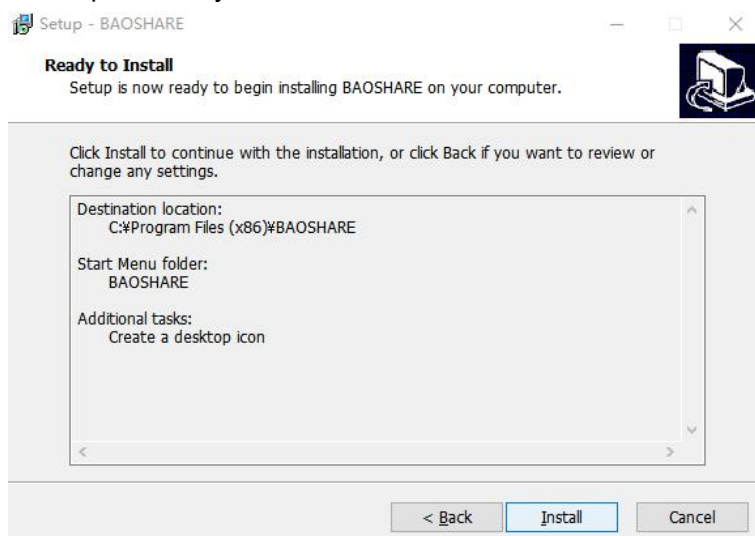
4. Select the Start menu folder interface and create a shortcut in the Start menu folder. If you need to change the path, click browse button, and click **【Next】** after setting.

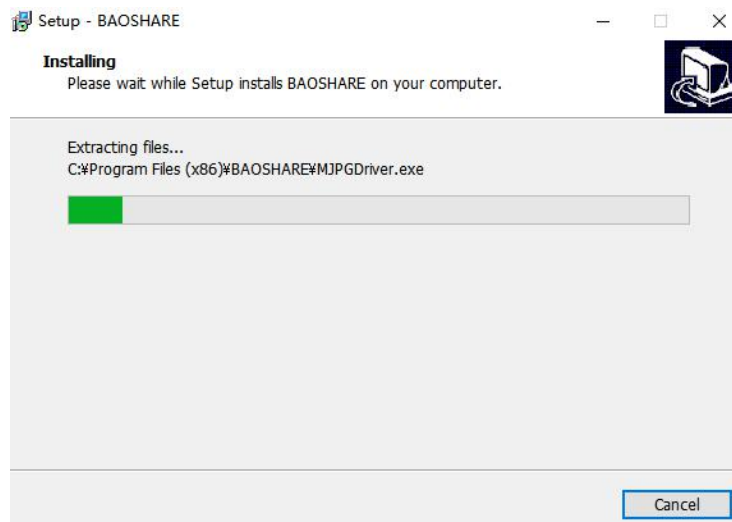


5. Select the additional task page to create a desktop shortcut according to your needs and select **【Next】**.



6. Prepare the installation interface, which can confirm the values set in the above steps. If it needs to be modified, select the previous step to modify, and then click **【Install】** to install the software.



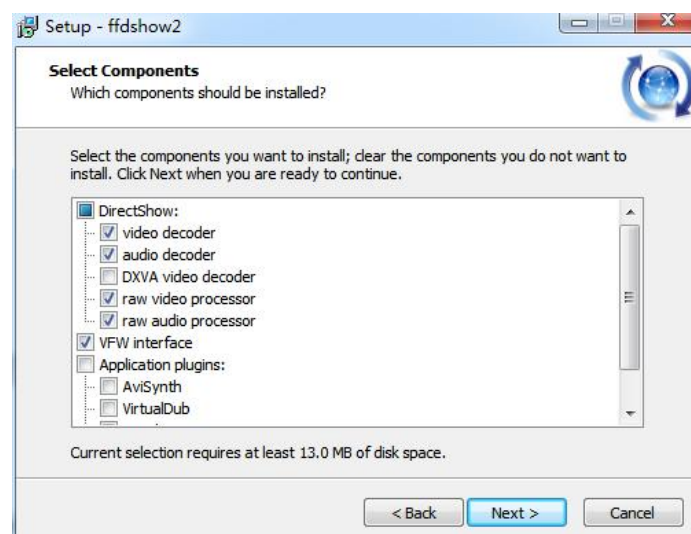


(If the computer operation system is Windows 7 or below, then it will prompt to install the ffdshow2 on the computer; If the computer operation system is Windows 10, then it won't prompt to install this ffdshow2.)

7. Pops out installation interface ffdshow2, please click **【Next】** .

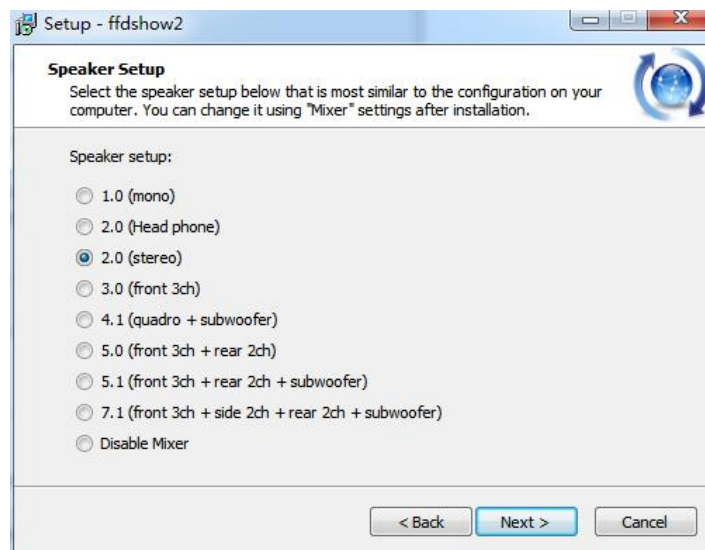


Click **【Next】**

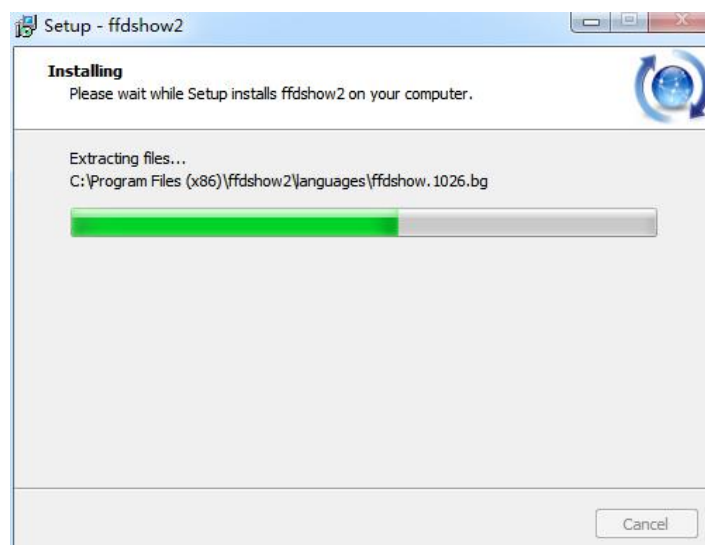
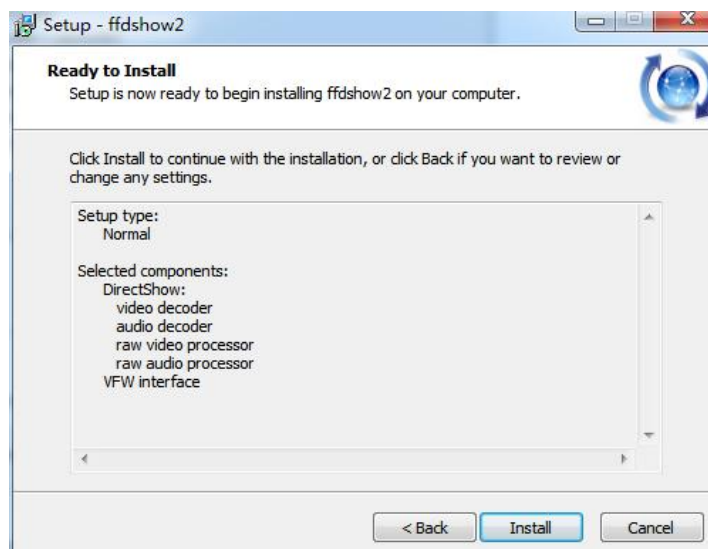




Click 【Next】



Click 【Install】



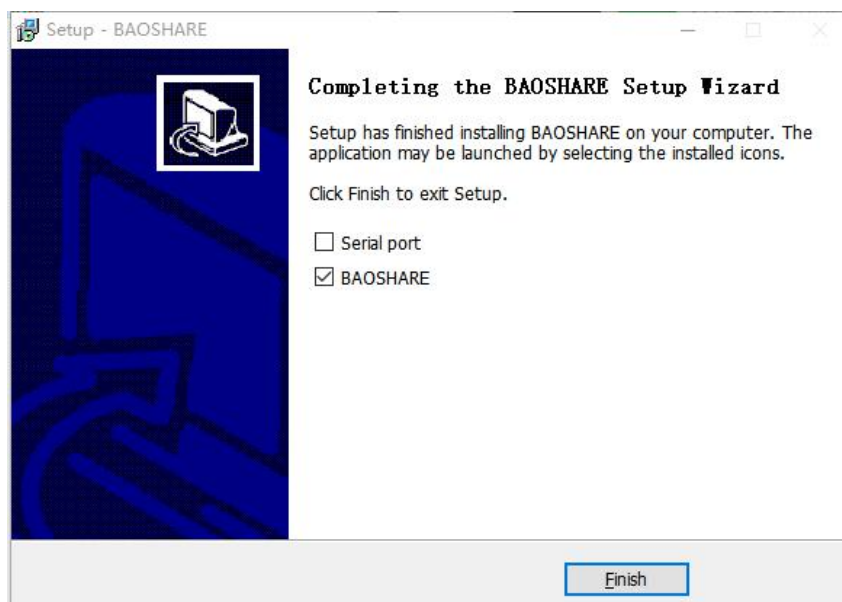
If there is any other safe software to ask for the operation privileges, please **allow** the installation of this software.

Click **【Finish】** , installation is finished.



Click **【Finish】** , finish the installation. (Default does not run the software)

Select ☒ **Comet Scanner** and click **【Finish】** , the software will run automatically.



## 5 Software uninstall

5.1 Uninstall the software through the control panel, select the corresponding software and uninstall it.

## 6 Software interface introductions

6.1 Turn on the software



Double-click the icon on the desktop of computer to turn on the software.

6.2 The basic interface of the software is shown in the figure below, which is mainly divided into five regions.

Location 1 is the functional area

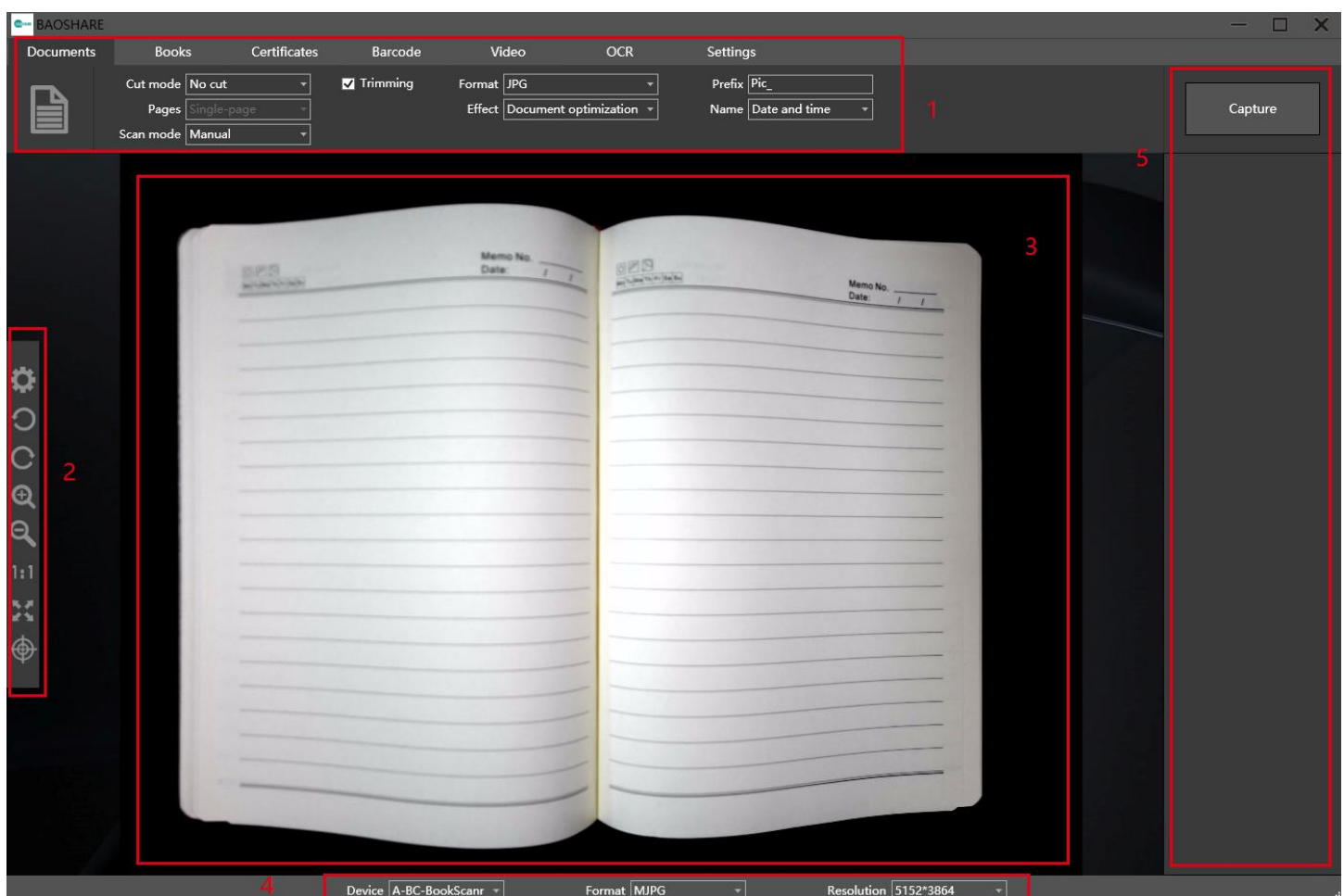
Location 2 is the auxiliary functional area

Location 3 is the preview area

Location 4 is the device information area

Location 5 is the output file list area

The interface of each functional module will be different. The following contents are respectively introduced.



# 7 Software function introductions

## 7.1 Software introduction Notes for attentions

7.1.1 The software function icon is highlighted to indicate that this function is available;The icon gray indicates that this function is not available

7.1.2 There are the same functions under each functional module of the software. When introducing the functions under each module, choose to introduce the new functions

7.1.3 Default saving of all function Settings of the software (for example, after selecting the "Automatic cutting" function, restart the software to choose the previous cutting mode by default)

## 7.2 Functional area introductions

### 7.2.1 Document Mode

#### 7.2.1.1 Cut Mode (no cut by default)

Click and pull down the triangle logo to choose "No cut" , "Automatic cut" , "Manual cut" or "Multi-graph cut"

#### 7.2.1.2 Scan Mode

Click and pull down the triangle logo to choose "Automatic" or "Manual"

Manual: need to click "Capture" manually

Automatic: Click "Start capture", the software can detect the automatically detect the action of changing the captured file. When the picture is stable, countdown to "3", "2" and "1" will be displayed, and then automatically capture

#### 7.2.1.3 Intelligent trimming

Automatically fill the area outside the captured file with white (generally with the output effect - optimize the use of the document, output the white background effect, keep the color)

#### 7.2.1.4 Pages

Click and pull down the triangle logo to choose "Single-page" or "Multi-page"

Single-page: Capture directly to create a single page file output

Multi-page: Multi-page capture is only valid if "Output Format" is "Image PDF". Before choosing multi-page capture, "Output Format" should be changed to "Image PDF"

#### 7.2.1.5 Format

Click and pull down the triangle logo to choose JPG / BMP /PNG / TIF / Image PDF

#### 7.2.1.6 Effect

Original color

Grey scale

Binaryzation

Document optimization: White background (generally used with intelligent trimming)

#### 7.2.1.7 The name of the output files:

7.2.1.7.1 Choose name as "No.", then input the prefix of the filename in the "Prefix" box (cannot contain the following characters \ / : \* ? " < > | )

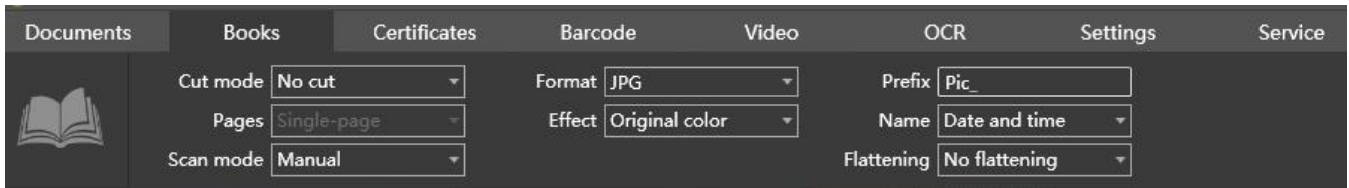
Created filename format: prefix +0001 increment

For example: the prefix is ASD, the created file name is ASD0001.....

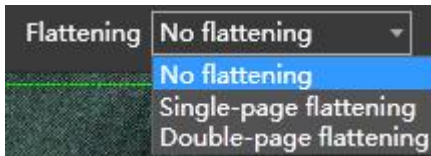
#### 7.2.1.7.2 Choose name as "Date and time"

The output file name is named after the current computer time

## 7.2.2 Books



### 7.2.2.1 Flattening



Click and pull down the triangle logo to choose "No flattening", "Single-page flattening" or "Double-page flattening"

Single-page flattening: will only output one file of two pages

Double-page flattening: Output two pages of flattening the book along the software preview center line into left and right

## 7.2.3 Video

### 7.2.3.1 Source

Click and pull down the triangle logo to choose "Camera" or "Screen"

### 7.2.3.2 Format

Click and pull down the triangle logo to choose "MP4", "WMV" or "AVI"

### 7.2.3.3 Fps

Click and pull down the triangle logo to choose the Fps of video

## 7.2.4 OCR

7.2.4.1 Turn on OCR: Click OCR to turn it on. If there is any other safe software to ask for the operation privileges, please allow the software.

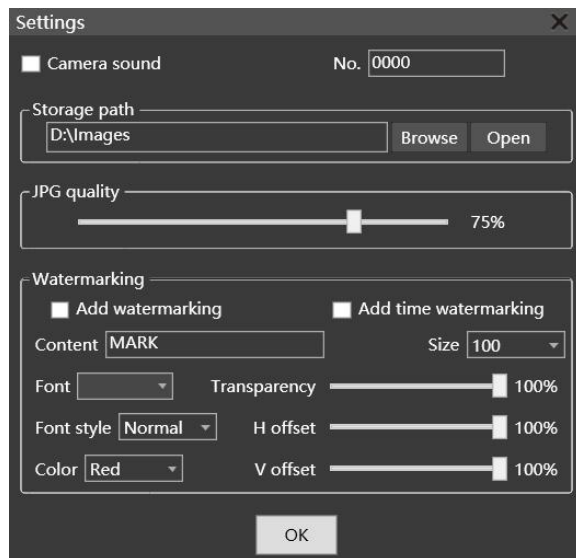
7.2.4.2 Operating step: open the image which need to be recognized——select the document language of the file——select the recognition area (Default full recognition)——Read——Output

7.2.4.3 OCR output format: TXT / Word / Excel / editable PDF, etc

### 7.2.5 Settings

Click "Settings", then it pops up the following dialog box





#### 7.2.5.1 Camera sound

When tick the “Camera sound”, there will be a sound prompt when capturing

#### 7.2.5.2 Storage path

Customize the save path for the output file

#### 7.2.5.3 JPG quality

When the output file is JPG format, this option can compress the output file size, **the file quality will have the corresponding loss**, please adjust according to the need

#### 7.2.5.4 Watermarking

When tick the “Add watermarking”, it will add a watermark to the output file

In the dialog box, the watermark can be edited according to the prompts, such as content, font, transparency, size, etc

When tick the “Add time watermarking” to use the default time watermark in the current computer time (year, month, day, minute and second)

After settings, click OK to exit

#### 7.2.6 Service

Click “Service” to check the connection way.

### 7.3 Auxiliary functional area introductions



#### 7.3.1 Settings:


Click this icon to pop up the following dialog box




7.3.1.1 The device brightness/contrast/exposure/and other parameters can be adjusted

7.3.1.2 The main and secondary camera images are merged, which requires equipment support

The merge location can be moved, and the screen size of secondary camera can be adjusted


7.3.2  Counterclockwise rotation:  
Each click rotates 90° counterclockwise

7.3.3  Clockwise rotation:  
Each click rotates 90° clockwise


7.3.4  Zoom in:  
Preview image zoom in

7.3.5  Zoom out:  
Preview image zoom out

7.3.6  1:1  
Preview image 1:1

7.3.7  Best size:  
Best size preview image (compress preview image to show all images within capturing range)

7.3.8  Focus:  
Need device support

7.3.9  Turn on secondary camera:  
Need device support

## 7.4 Device information area function introductions

7.4.1 The device information area displays the current connected device, video format and resolution. The resolution can be selected according to the selection requirements

## 7.5 Output file list area introductions

7.5.1 After all settings you need, click “Capture” to output file

7.5.2 The output file is displayed in the form of thumbnails in the list area. Right click to do the operation of the output file

## 8 General problems of device in use

Problem 1: The device can not connect with computer (the software can not figure out, no picture screen displays on the device information area)

1. Make sure the adapter is plugged in
2. Make sure that the data cable is connect with the computer properly and the data interface of the computer is normal (you can use a USB flash disk or other normal USB devices to check whether the interface is normal).
3. Re-plug into other interfaces of the computer (if the computer is with a host, please plug the USB cable into the USB interface of back panel of host)
4. Check whether the Device Manager has detected the camera
5. Check whether the camera is disabled on the Device Manager

Problem 2: The device is connected with computer, but no picture screen displays on the device information area

1. Make sure that the software is correct
2. Make sure that the software is installed normally (you can try to install it again)

Problem 3: Unclear

1. Check whether the resolution is normal (the higher the resolution, the better the definition)
2. No shaking during capturing
3. Whether the camera is visibly dirty
4. Refocus

Problem 4: The fill light is not on or flash always

1. Please try to connect the scanner to the computer with USB cable again
2. Check whether the power adapter is plugged in
3. Check whether the power socket is electricity

**If you have any problems about the product, please contact us: [sales\\_bdjp@163.com](mailto:sales_bdjp@163.com)**